

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																						
ページ	行																																																								
10	鳥の目 1-3	<p>世界全体の平均寿命は73歳(年) 平均寿命は国によって大きく異なる。とくに長いのは日本や<u>スイス</u>などで男女ともに80歳を超え</p>	<p>世界全体の平均寿命は71歳(年) 平均寿命は国によって大きく異なる。とくに長いのは日本や<u>シンガポール</u>などで男女ともに80歳</p>																																																						
10	鳥の目 表	<p>平均寿命ランキング(男女平均, 2019年)</p> <table border="1"> <tr><td>1位</td><td>日本</td><td>84.3年</td></tr> <tr><td>2位</td><td>スイス</td><td>83.4年</td></tr> <tr><td>3位</td><td>大韓民国</td><td>83.3年</td></tr> <tr><td>⋮</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>40位</td><td>アメリカ合衆国</td><td>78.5年</td></tr> <tr><td>⋮</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>181位</td><td>ソマリア</td><td>56.5年</td></tr> <tr><td>182位</td><td>中央アフリカ</td><td>53.1年</td></tr> <tr><td>183位</td><td>レソト</td><td>50.7年</td></tr> </table> <p>WHO "World Health Statistics" 2022 より</p>	1位	日本	84.3年	2位	スイス	83.4年	3位	大韓民国	83.3年	⋮			40位	アメリカ合衆国	78.5年	⋮			181位	ソマリア	56.5年	182位	中央アフリカ	53.1年	183位	レソト	50.7年	<p>平均寿命ランキング(男女平均, 2021年)</p> <table border="1"> <tr><td>1位</td><td>日本</td><td>84.5年</td></tr> <tr><td>2位</td><td>シンガポール</td><td>83.9年</td></tr> <tr><td>3位</td><td>大韓民国</td><td>83.8年</td></tr> <tr><td>⋮</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>46位</td><td>アメリカ合衆国</td><td>76.4年</td></tr> <tr><td>⋮</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>183位</td><td>ソマリア</td><td>54.0年</td></tr> <tr><td>184位</td><td>中央アフリカ</td><td>52.3年</td></tr> <tr><td>185位</td><td>レソト</td><td>51.5年</td></tr> </table> <p>WHO "World Health Statistics" 2024 より</p>	1位	日本	84.5年	2位	シンガポール	83.9年	3位	大韓民国	83.8年	⋮			46位	アメリカ合衆国	76.4年	⋮			183位	ソマリア	54.0年	184位	中央アフリカ	52.3年	185位	レソト	51.5年
1位	日本	84.3年																																																							
2位	スイス	83.4年																																																							
3位	大韓民国	83.3年																																																							
⋮																																																									
40位	アメリカ合衆国	78.5年																																																							
⋮																																																									
181位	ソマリア	56.5年																																																							
182位	中央アフリカ	53.1年																																																							
183位	レソト	50.7年																																																							
1位	日本	84.5年																																																							
2位	シンガポール	83.9年																																																							
3位	大韓民国	83.8年																																																							
⋮																																																									
46位	アメリカ合衆国	76.4年																																																							
⋮																																																									
183位	ソマリア	54.0年																																																							
184位	中央アフリカ	52.3年																																																							
185位	レソト	51.5年																																																							
10	虫の目 2-3	<p>日本の平均寿命は、<u>2021年</u>時点で男性が<u>81.47歳</u>、女性が<u>87.57歳</u>で、その長さは世界でもトップクラ</p>	<p>日本の平均寿命は、<u>2023年</u>時点で男性が<u>81.09歳</u>、女性が<u>87.14歳</u>で、その長さは世界でもトップクラ</p>																																																						
14	資料 4	<p>資料4 何のために働くか</p> <p>18~29歳(年齢)</p> <p>内閣府「国民生活に関する世論調査」令和4年度より</p>	<p>資料4 何のために働くか</p> <p>18~29歳(年齢)</p> <p>内閣府「国民生活に関する世論調査」令和5年度より</p>																																																						

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																				
ページ	行																																						
15	5-6	<p>れても、<u>31.5%</u>が3年以内に離職しているという調査がある(令和<u>4年</u>, 厚生労働省)。フリーターやニートと呼ばれる若者や、 ↪解説1 ↪解説2</p>	<p>れても、<u>32.3%</u>が3年以内に離職しているという調査がある(令和<u>5年</u>, 厚生労働省)。フリーターやニートと呼ばれる若者や、 ↪解説1 ↪解説2</p>																																				
15	資料5	<p>資料5 正規、非正規雇用者の推移 (25~34歳)</p> <table border="1"> <caption>資料5 正規、非正規雇用者の推移 (25~34歳)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>正規の職員・従業員 (%)</th> <th>非正規の職員・従業員 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1990年</td> <td>88.3</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>2000年</td> <td>84.2</td> <td>15.8</td> </tr> <tr> <td>2010年</td> <td>74.4</td> <td>25.6</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>76.0</td> <td>24.0</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td>77.8</td> <td>22.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1990~2000年は2月, 2010年以降は1~3月の数値。 🔍 総務省「労働力調査」より</p>	年	正規の職員・従業員 (%)	非正規の職員・従業員 (%)	1990年	88.3	11.7	2000年	84.2	15.8	2010年	74.4	25.6	2020年	76.0	24.0	2022年	77.8	22.2	<p>資料5 正規、非正規雇用者の推移 (25~34歳)</p> <table border="1"> <caption>資料5 正規、非正規雇用者の推移 (25~34歳)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>正規の職員・従業員 (%)</th> <th>非正規の職員・従業員 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1990年</td> <td>88.3</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>2000年</td> <td>84.2</td> <td>15.8</td> </tr> <tr> <td>2010年</td> <td>74.4</td> <td>25.6</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>76.0</td> <td>24.0</td> </tr> <tr> <td>2023年</td> <td>77.5</td> <td>22.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1990~2000年は2月, 2010年以降は1~3月の数値。 🔍 総務省「労働力調査」より</p>	年	正規の職員・従業員 (%)	非正規の職員・従業員 (%)	1990年	88.3	11.7	2000年	84.2	15.8	2010年	74.4	25.6	2020年	76.0	24.0	2023年	77.5	22.5
年	正規の職員・従業員 (%)	非正規の職員・従業員 (%)																																					
1990年	88.3	11.7																																					
2000年	84.2	15.8																																					
2010年	74.4	25.6																																					
2020年	76.0	24.0																																					
2022年	77.8	22.2																																					
年	正規の職員・従業員 (%)	非正規の職員・従業員 (%)																																					
1990年	88.3	11.7																																					
2000年	84.2	15.8																																					
2010年	74.4	25.6																																					
2020年	76.0	24.0																																					
2023年	77.5	22.5																																					
15	資料6	<p>資料6 生涯賃金*1の比較 (2020年) (男女・学歴・非正規)</p> <table border="1"> <caption>資料6 生涯賃金*1の比較 (2020年)</caption> <thead> <tr> <th>職種・学歴</th> <th>生涯賃金 (億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正規社員 (大学・大学院卒男性)</td> <td>6.190</td> </tr> <tr> <td>正規社員 (大学・大学院卒女性)</td> <td>2.000</td> </tr> <tr> <td>正規社員 (高卒男性)</td> <td>2.000</td> </tr> <tr> <td>正規社員 (高卒女性)</td> <td>1.496</td> </tr> <tr> <td>非正規従業員</td> <td>0.684</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 60歳まで。退職金は含めない。 ※2 月15万円で23歳~60歳まで働いたとして計算。 🔍 正規社員の賃金は労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計」2022より</p>	職種・学歴	生涯賃金 (億円)	正規社員 (大学・大学院卒男性)	6.190	正規社員 (大学・大学院卒女性)	2.000	正規社員 (高卒男性)	2.000	正規社員 (高卒女性)	1.496	非正規従業員	0.684	<p>資料6 生涯賃金*1の比較 (2022年) (男女・学歴・非正規)</p> <table border="1"> <caption>資料6 生涯賃金*1の比較 (2022年)</caption> <thead> <tr> <th>職種・学歴</th> <th>生涯賃金 (億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正規社員 (大学卒男性)</td> <td>4.740</td> </tr> <tr> <td>正規社員 (大学卒女性)</td> <td>1.980</td> </tr> <tr> <td>正規社員 (高卒男性)</td> <td>2.000</td> </tr> <tr> <td>正規社員 (高卒女性)</td> <td>1.492</td> </tr> <tr> <td>非正規従業員</td> <td>0.684</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 60歳まで。退職金は含めない。 ※2 月15万円で23歳~60歳まで働いたとして計算。 🔍 正規社員の賃金は労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計」2023より</p>	職種・学歴	生涯賃金 (億円)	正規社員 (大学卒男性)	4.740	正規社員 (大学卒女性)	1.980	正規社員 (高卒男性)	2.000	正規社員 (高卒女性)	1.492	非正規従業員	0.684												
職種・学歴	生涯賃金 (億円)																																						
正規社員 (大学・大学院卒男性)	6.190																																						
正規社員 (大学・大学院卒女性)	2.000																																						
正規社員 (高卒男性)	2.000																																						
正規社員 (高卒女性)	1.496																																						
非正規従業員	0.684																																						
職種・学歴	生涯賃金 (億円)																																						
正規社員 (大学卒男性)	4.740																																						
正規社員 (大学卒女性)	1.980																																						
正規社員 (高卒男性)	2.000																																						
正規社員 (高卒女性)	1.492																																						
非正規従業員	0.684																																						

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																												
ページ	行																																																														
16	column	<p>トナー」として公的に認める制度が、2015年以降、日本の<u>328</u>の自治体で導</p> <p>パートナーシップ制度の認定件数 (2023年6月28日現在)</p> <p>※札幌市・福岡市・大阪市 などは戸籍上異性同士も登録可能。</p> <table border="1"> <caption>パートナーシップ制度の認定件数 (2023年6月28日現在)</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>認定件数</th> <th>代表自治体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道</td> <td>217組</td> <td>札幌市など</td> </tr> <tr> <td>東北地方</td> <td>14組</td> <td>青森県弘前市など</td> </tr> <tr> <td>関東地方</td> <td>2,843組</td> <td>神奈川県横浜市など</td> </tr> <tr> <td>中部地方</td> <td>351組</td> <td>静岡県浜松市など</td> </tr> <tr> <td>近畿地方</td> <td>1,072組</td> <td>大阪府大阪市など</td> </tr> <tr> <td>中国地方</td> <td>102組</td> <td>広島県広島市など</td> </tr> <tr> <td>四国地方</td> <td>66組</td> <td>香川県高松市など</td> </tr> <tr> <td>九州地方</td> <td>354組</td> <td>福岡県福岡市など</td> </tr> <tr> <td>沖縄県</td> <td>71組</td> <td>那覇市など</td> </tr> </tbody> </table> <p>北海道 217組 (札幌市など)</p> <p>北陸地方 76組 (富山県富山市など)</p> <p>中部地方 351組 (静岡県浜松市など)</p> <p>近畿地方 1,072組 (大阪府大阪市など)</p> <p>中国地方 102組 (広島県広島市など)</p> <p>関東地方 2,843組 (神奈川県横浜市など)</p> <p>四国地方 66組 (香川県高松市など)</p> <p>九州地方 354組 (福岡県福岡市など)</p> <p>沖縄県 71組 (那覇市など)</p> <p>渋谷区・認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ2023「地方自治体のパートナー制度登録件数」より</p>	地域	認定件数	代表自治体	北海道	217組	札幌市など	東北地方	14組	青森県弘前市など	関東地方	2,843組	神奈川県横浜市など	中部地方	351組	静岡県浜松市など	近畿地方	1,072組	大阪府大阪市など	中国地方	102組	広島県広島市など	四国地方	66組	香川県高松市など	九州地方	354組	福岡県福岡市など	沖縄県	71組	那覇市など	<p>トナー」として公的に認める制度が、2015年以降、日本の<u>459</u>の自治体で導</p> <p>パートナーシップ制度の認定件数 (2024年5月31日現在)</p> <p>※札幌市・福岡市・大阪市 などは戸籍上異性同士も登録可能。</p> <table border="1"> <caption>パートナーシップ制度の認定件数 (2024年5月31日現在)</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>認定件数</th> <th>代表自治体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道</td> <td>264組</td> <td>札幌市など</td> </tr> <tr> <td>東北地方</td> <td>47組</td> <td>岩手県盛岡市など</td> </tr> <tr> <td>関東地方</td> <td>3,998組</td> <td>神奈川県横浜市など</td> </tr> <tr> <td>中部地方</td> <td>682組</td> <td>愛知県名古屋市など</td> </tr> <tr> <td>近畿地方</td> <td>1,443組</td> <td>大阪府大阪市など</td> </tr> <tr> <td>中国地方</td> <td>159組</td> <td>広島県広島市など</td> </tr> <tr> <td>四国地方</td> <td>90組</td> <td>香川県高松市など</td> </tr> <tr> <td>九州地方</td> <td>442組</td> <td>福岡県福岡市など</td> </tr> <tr> <td>沖縄県</td> <td>88組</td> <td>那覇市など</td> </tr> </tbody> </table> <p>北海道 264組 (札幌市など)</p> <p>北陸地方 138組 (新潟県新潟市など)</p> <p>中部地方 682組 (愛知県名古屋市など)</p> <p>近畿地方 1,443組 (大阪府大阪市など)</p> <p>中国地方 159組 (広島県広島市など)</p> <p>関東地方 3,998組 (神奈川県横浜市など)</p> <p>四国地方 90組 (香川県高松市など)</p> <p>九州地方 442組 (福岡県福岡市など)</p> <p>沖縄県 88組 (那覇市など)</p> <p>渋谷区・認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ2024「全国パートナーシップ制度共同調査」より</p>	地域	認定件数	代表自治体	北海道	264組	札幌市など	東北地方	47組	岩手県盛岡市など	関東地方	3,998組	神奈川県横浜市など	中部地方	682組	愛知県名古屋市など	近畿地方	1,443組	大阪府大阪市など	中国地方	159組	広島県広島市など	四国地方	90組	香川県高松市など	九州地方	442組	福岡県福岡市など	沖縄県	88組	那覇市など
地域	認定件数	代表自治体																																																													
北海道	217組	札幌市など																																																													
東北地方	14組	青森県弘前市など																																																													
関東地方	2,843組	神奈川県横浜市など																																																													
中部地方	351組	静岡県浜松市など																																																													
近畿地方	1,072組	大阪府大阪市など																																																													
中国地方	102組	広島県広島市など																																																													
四国地方	66組	香川県高松市など																																																													
九州地方	354組	福岡県福岡市など																																																													
沖縄県	71組	那覇市など																																																													
地域	認定件数	代表自治体																																																													
北海道	264組	札幌市など																																																													
東北地方	47組	岩手県盛岡市など																																																													
関東地方	3,998組	神奈川県横浜市など																																																													
中部地方	682組	愛知県名古屋市など																																																													
近畿地方	1,443組	大阪府大阪市など																																																													
中国地方	159組	広島県広島市など																																																													
四国地方	90組	香川県高松市など																																																													
九州地方	442組	福岡県福岡市など																																																													
沖縄県	88組	那覇市など																																																													

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																																								
ページ	行																																																																										
19	資料4	<p>資料4 家庭の役割についての意識調査</p> <table border="1"> <caption>令和6年度教科書(旧) 資料4 家庭の役割についての意識調査</caption> <thead> <tr> <th>役割</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>家族の団らんの場</td><td>63.3</td></tr> <tr><td>休息・やすらぎの場</td><td>61.9</td></tr> <tr><td>家族の絆を強める場</td><td>44.9</td></tr> <tr><td>親子がともに成長する場</td><td>33.3</td></tr> <tr><td>夫婦の愛情をはぐくむ場</td><td>22.6</td></tr> <tr><td>子どもを生き、育てる場</td><td>19.3</td></tr> <tr><td>親の世話をする場</td><td>8.1</td></tr> <tr><td>子どもをしつける場</td><td>7.2</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2.8</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0.8</td></tr> </tbody> </table> <p>内閣府「国民生活に関する世論調査」令和4年度より</p>	役割	割合 (%)	家族の団らんの場	63.3	休息・やすらぎの場	61.9	家族の絆を強める場	44.9	親子がともに成長する場	33.3	夫婦の愛情をはぐくむ場	22.6	子どもを生き、育てる場	19.3	親の世話をする場	8.1	子どもをしつける場	7.2	その他	2.8	無回答	0.8	<p>資料4 家庭の役割についての意識調査</p> <table border="1"> <caption>令和7年度教科書(新) 資料4 家庭の役割についての意識調査</caption> <thead> <tr> <th>役割</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>休息・やすらぎの場</td><td>62.5</td></tr> <tr><td>家族の団らんの場</td><td>61.9</td></tr> <tr><td>家族の絆を強める場</td><td>43.0</td></tr> <tr><td>親子がともに成長する場</td><td>33.5</td></tr> <tr><td>夫婦の愛情をはぐくむ場</td><td>21.9</td></tr> <tr><td>子どもを生き、育てる場</td><td>19.0</td></tr> <tr><td>親の世話をする場</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>子どもをしつける場</td><td>7.5</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0.8</td></tr> </tbody> </table> <p>内閣府「国民生活に関する世論調査」令和5年度より</p>	役割	割合 (%)	休息・やすらぎの場	62.5	家族の団らんの場	61.9	家族の絆を強める場	43.0	親子がともに成長する場	33.5	夫婦の愛情をはぐくむ場	21.9	子どもを生き、育てる場	19.0	親の世話をする場	9.8	子どもをしつける場	7.5	その他	2.9	無回答	0.8																												
役割	割合 (%)																																																																										
家族の団らんの場	63.3																																																																										
休息・やすらぎの場	61.9																																																																										
家族の絆を強める場	44.9																																																																										
親子がともに成長する場	33.3																																																																										
夫婦の愛情をはぐくむ場	22.6																																																																										
子どもを生き、育てる場	19.3																																																																										
親の世話をする場	8.1																																																																										
子どもをしつける場	7.2																																																																										
その他	2.8																																																																										
無回答	0.8																																																																										
役割	割合 (%)																																																																										
休息・やすらぎの場	62.5																																																																										
家族の団らんの場	61.9																																																																										
家族の絆を強める場	43.0																																																																										
親子がともに成長する場	33.5																																																																										
夫婦の愛情をはぐくむ場	21.9																																																																										
子どもを生き、育てる場	19.0																																																																										
親の世話をする場	9.8																																																																										
子どもをしつける場	7.5																																																																										
その他	2.9																																																																										
無回答	0.8																																																																										
23	資料4	<p>資料4 晩婚化(平均初婚年齢の推移)</p> <table border="1"> <caption>令和6年度教科書(旧) 資料4 晩婚化(平均初婚年齢の推移)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>夫 (歳)</th> <th>妻 (歳)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1920</td><td>27.5</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>1930</td><td>27.5</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>1940</td><td>29.0</td><td>14.5</td></tr> <tr><td>1950</td><td>26.0</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>1960</td><td>27.5</td><td>14.5</td></tr> <tr><td>1970</td><td>27.0</td><td>14.0</td></tr> <tr><td>1980</td><td>28.0</td><td>15.5</td></tr> <tr><td>1990</td><td>28.5</td><td>16.0</td></tr> <tr><td>2000</td><td>29.0</td><td>17.0</td></tr> <tr><td>2010</td><td>30.5</td><td>19.0</td></tr> <tr><td>2022</td><td>31.1</td><td>29.7</td></tr> </tbody> </table> <p>厚生労働省「人口動態統計」より</p>	年	夫 (歳)	妻 (歳)	1920	27.5	13.0	1930	27.5	13.0	1940	29.0	14.5	1950	26.0	13.0	1960	27.5	14.5	1970	27.0	14.0	1980	28.0	15.5	1990	28.5	16.0	2000	29.0	17.0	2010	30.5	19.0	2022	31.1	29.7	<p>資料4 晩婚化(平均初婚年齢の推移)</p> <table border="1"> <caption>令和7年度教科書(新) 資料4 晩婚化(平均初婚年齢の推移)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>夫 (歳)</th> <th>妻 (歳)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1920</td><td>27.5</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>1930</td><td>27.5</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>1940</td><td>29.0</td><td>14.5</td></tr> <tr><td>1950</td><td>26.0</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>1960</td><td>27.5</td><td>14.5</td></tr> <tr><td>1970</td><td>27.0</td><td>14.0</td></tr> <tr><td>1980</td><td>28.0</td><td>15.5</td></tr> <tr><td>1990</td><td>28.5</td><td>16.0</td></tr> <tr><td>2000</td><td>29.0</td><td>17.0</td></tr> <tr><td>2010</td><td>30.5</td><td>19.0</td></tr> <tr><td>2023</td><td>31.1</td><td>29.7</td></tr> </tbody> </table> <p>厚生労働省「人口動態統計」より</p>	年	夫 (歳)	妻 (歳)	1920	27.5	13.0	1930	27.5	13.0	1940	29.0	14.5	1950	26.0	13.0	1960	27.5	14.5	1970	27.0	14.0	1980	28.0	15.5	1990	28.5	16.0	2000	29.0	17.0	2010	30.5	19.0	2023	31.1	29.7
年	夫 (歳)	妻 (歳)																																																																									
1920	27.5	13.0																																																																									
1930	27.5	13.0																																																																									
1940	29.0	14.5																																																																									
1950	26.0	13.0																																																																									
1960	27.5	14.5																																																																									
1970	27.0	14.0																																																																									
1980	28.0	15.5																																																																									
1990	28.5	16.0																																																																									
2000	29.0	17.0																																																																									
2010	30.5	19.0																																																																									
2022	31.1	29.7																																																																									
年	夫 (歳)	妻 (歳)																																																																									
1920	27.5	13.0																																																																									
1930	27.5	13.0																																																																									
1940	29.0	14.5																																																																									
1950	26.0	13.0																																																																									
1960	27.5	14.5																																																																									
1970	27.0	14.0																																																																									
1980	28.0	15.5																																																																									
1990	28.5	16.0																																																																									
2000	29.0	17.0																																																																									
2010	30.5	19.0																																																																									
2023	31.1	29.7																																																																									

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)
ページ	行		
24	資料5	<p>資料5 夫婦共働き世帯の増加</p> <p>総務省「労働力調査」より</p>	<p>資料5 夫婦共働き世帯の増加</p> <p>総務省「労働力調査」より</p>
24	資料6	<p>資料6 女性の労働力人口比率 (2020年)</p> <p>※アメリカの「15～19歳」は16～19歳。 日本は総務省「労働力調査」令和3年、その他の国はILO「ILOSTAT」より</p>	<p>資料6 女性の労働力人口比率 (2022年)</p> <p>※アメリカの「15～19歳」は16～19歳。 ILO「ILOSTAT」より</p>

削除

訂正箇所		令和6年度教科書（旧）	令和7年度教科書（新）
ページ	行		
24	13-15	男女の協力に対する意識が高まっているものの、日本の男女共同参画のレベルは、ジェンダーギャップ指数が156か国中世界第120位と、まだまだ低い水準にある（2021年時点）。たとえば、男	男女の協力に対する意識が高まっているものの、日本の男女共同参画のレベルは、ジェンダーギャップ指数が146か国中世界第118位と、まだまだ低い水準にある（2024年時点）。たとえば、男
折込 ④	上囲み	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>生後3～4日頃に、体重が出生時に比べて5～10%減少する。これを生理的体重減少といい、尿や汗、便を出すか、授乳量が少ないために起こる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>生後3～4日頃に、体重が出生時に比べて5～10%減少する。これを生理的体重減少といい、尿や汗、便を出すか、哺乳量が少ないために起こる。</p> </div>
37	column 1-2	元気だった赤ちゃんが、睡眠中に突然死亡する病気である。令和3年には81人の赤ちゃんが亡くなっている。原因は不明な点が多いが、「うつぶせ寝」	元気だった赤ちゃんが、睡眠中に突然死亡する病気である。令和4年には47人の赤ちゃんが亡くなっている。原因は不明な点が多いが、「うつぶせ寝」
38	抱っこ ②		

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																				
ページ	行																						
40	資料1	<p>資料1 合計特殊出生率の海外との比較 (2020年)</p> <table border="1"> <tr><th>国</th><th>合計特殊出生率</th></tr> <tr><td>日本</td><td>1.33</td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td>1.64</td></tr> <tr><td>スウェーデン</td><td>1.66</td></tr> <tr><td>イタリア</td><td>1.24</td></tr> </table> <p>内閣府「少子化社会対策白書」令和4年版より</p>	国	合計特殊出生率	日本	1.33	アメリカ	1.64	スウェーデン	1.66	イタリア	1.24	<p>資料1 合計特殊出生率の海外との比較 (2023年)</p> <table border="1"> <tr><th>国</th><th>合計特殊出生率</th></tr> <tr><td>日本</td><td>1.21</td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td>1.62</td></tr> <tr><td>スウェーデン</td><td>1.43</td></tr> <tr><td>イタリア</td><td>1.20</td></tr> </table> <p>United Nations「World Population Prospects 2024」より</p>	国	合計特殊出生率	日本	1.21	アメリカ	1.62	スウェーデン	1.43	イタリア	1.20
国	合計特殊出生率																						
日本	1.33																						
アメリカ	1.64																						
スウェーデン	1.66																						
イタリア	1.24																						
国	合計特殊出生率																						
日本	1.21																						
アメリカ	1.62																						
スウェーデン	1.43																						
イタリア	1.20																						
40	資料2	<p>資料2 出生数の変化</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><th>出生数(万人)</th></tr> <tr><td>1947</td><td>267.9</td></tr> <tr><td>2022</td><td>77.0759</td></tr> </table> <p>厚生労働省「人口動態統計」より</p>	年	出生数(万人)	1947	267.9	2022	77.0759	<p>資料2 出生数の変化</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><th>出生数(万人)</th></tr> <tr><td>1947</td><td>267.9</td></tr> <tr><td>2023</td><td>72.7277</td></tr> </table> <p>厚生労働省「人口動態統計」より</p>	年	出生数(万人)	1947	267.9	2023	72.7277								
年	出生数(万人)																						
1947	267.9																						
2022	77.0759																						
年	出生数(万人)																						
1947	267.9																						
2023	72.7277																						

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)
ページ	行		
41	資料4	<p>児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移</p> <p>※2010年度は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値。 🔍 グラフはすべて、厚生労働省「福祉行政報告例」より</p> <p>虐待者の内訳(2021年度)</p>	<p>児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移</p> <p>※2010年度は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値。 🔍 グラフはすべて、厚生労働省「福祉行政報告例」より</p> <p>虐待者の内訳(2022年度)</p>
42	資料6 3つ目の○	<p>育児・介護休業法</p> <p>○子ども <u>(小学校就学前)</u> の看護休暇がとれる。</p>	<p>○子ども <u>(小学3年まで)</u> の看護等休暇がとれる。</p>
45	column 5	<p>2022年現在、全国に<u>約7,500</u>か所が開かれているという。</p>	<p>2023年現在、全国に<u>約9,100</u>か所が開かれているという。</p>



訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)
ページ	行		
46	虫の目 本文	<p>日本の父親の育児休業取得率は約17%</p> <p>日本では育児休業の制度が1992年から施行され、育児休業を取得しやすいよう改正がくり返されている。現在は休業前賃金の67%が給付される、社会保険料が免除されるなどの補助がある。父親と母親のどちらでも受けられる制度だが、育児休業取得率でみると、母親が80.2%であるのに対し、父親は17.13%と圧倒的に低い。国や企業では父親が育児休業を取得しやすくするための取り組みが行われている。</p>	<p>日本の父親の育児休業取得率は約30%</p> <p>日本では育児休業の制度が1992年から施行され、育児休業を取得しやすいよう改正がくり返されている。現在は休業前賃金の67%が給付される、社会保険料が免除されるなどの補助がある。父親の育児休業取得率の低さが長年の課題であったが、国や企業の取り組みなどにより父親の育児休業取得が推進されている。現在の育児休業取得率は、母親の84.1%に対して父親が30.1%まで上昇し、改善のきざしがみられる。</p>
46	虫の目 グラフ	<p>育児休業の取得率*</p> <p>調査前年度1年間の出産者（男性の場合は配偶者が出産した者）のうち、育児休業を開始した者または開始予定の申出をしている者の数。</p> <p>* 2011年の数値は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。</p> <p>厚生労働省「雇用均等基本調査」より</p>	<p>育児休業の取得率*</p> <p>調査前年度1年間の出産者（男性の場合は配偶者が出産した者）のうち、育児休業を開始した者または開始予定の申出をしている者の数。2023年は産後パパ育休を含む。</p> <p>* 2011年の数値は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。</p> <p>厚生労働省「雇用均等基本調査」より</p>

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																																								
ページ	行																																																																										
50	資料7	<p>資料7 諸外国の平均寿命と健康寿命</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>平均寿命</th> <th>健康寿命</th> <th>国</th> <th>平均寿命</th> <th>健康寿命</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本</td> <td>84年</td> <td>74年</td> <td>スウェーデン</td> <td>82年</td> <td>72年</td> </tr> <tr> <td>シンガポール</td> <td>83年</td> <td>74年</td> <td>ドイツ</td> <td>82年</td> <td>71年</td> </tr> <tr> <td>フランス</td> <td>83年</td> <td>72年</td> <td>イギリス</td> <td>81年</td> <td>70年</td> </tr> <tr> <td>イタリア</td> <td>83年</td> <td>72年</td> <td>アメリカ</td> <td>79年</td> <td>66年</td> </tr> <tr> <td>韓国</td> <td>83年</td> <td>73年</td> <td>中国</td> <td>77年</td> <td>69年</td> </tr> </tbody> </table> <p>WHO「World Health Statistics2022」より</p>	国	平均寿命	健康寿命	国	平均寿命	健康寿命	日本	84年	74年	スウェーデン	82年	72年	シンガポール	83年	74年	ドイツ	82年	71年	フランス	83年	72年	イギリス	81年	70年	イタリア	83年	72年	アメリカ	79年	66年	韓国	83年	73年	中国	77年	69年	<p>資料7 諸外国の平均寿命と健康寿命</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>平均寿命</th> <th>健康寿命</th> <th>国</th> <th>平均寿命</th> <th>健康寿命</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本</td> <td>85年</td> <td>73年</td> <td>スウェーデン</td> <td>83年</td> <td>71年</td> </tr> <tr> <td>シンガポール</td> <td>84年</td> <td>74年</td> <td>ドイツ</td> <td>81年</td> <td>69年</td> </tr> <tr> <td>フランス</td> <td>82年</td> <td>70年</td> <td>イギリス</td> <td>80年</td> <td>69年</td> </tr> <tr> <td>イタリア</td> <td>82年</td> <td>71年</td> <td>アメリカ</td> <td>76年</td> <td>64年</td> </tr> <tr> <td>韓国</td> <td>84年</td> <td>73年</td> <td>中国</td> <td>78年</td> <td>69年</td> </tr> </tbody> </table> <p>WHO「World Health Statistics2024」より</p>	国	平均寿命	健康寿命	国	平均寿命	健康寿命	日本	85年	73年	スウェーデン	83年	71年	シンガポール	84年	74年	ドイツ	81年	69年	フランス	82年	70年	イギリス	80年	69年	イタリア	82年	71年	アメリカ	76年	64年	韓国	84年	73年	中国	78年	69年
国	平均寿命	健康寿命	国	平均寿命	健康寿命																																																																						
日本	84年	74年	スウェーデン	82年	72年																																																																						
シンガポール	83年	74年	ドイツ	82年	71年																																																																						
フランス	83年	72年	イギリス	81年	70年																																																																						
イタリア	83年	72年	アメリカ	79年	66年																																																																						
韓国	83年	73年	中国	77年	69年																																																																						
国	平均寿命	健康寿命	国	平均寿命	健康寿命																																																																						
日本	85年	73年	スウェーデン	83年	71年																																																																						
シンガポール	84年	74年	ドイツ	81年	69年																																																																						
フランス	82年	70年	イギリス	80年	69年																																																																						
イタリア	82年	71年	アメリカ	76年	64年																																																																						
韓国	84年	73年	中国	78年	69年																																																																						
52	資料11	<p>資料11 生きがいを感じている人の割合</p> <p>(調査対象：全国の65歳以上の男女) 内閣府「令和4年 高齢者の健康に関する調査」より</p>	<p>資料11 生きがいを感じている人の割合</p> <p>(調査対象：全国の65歳以上の男女) 内閣府「令和5年度 高齢社会対策総合調査(高齢者の住宅と生活環境に関する調査)」より</p>																																																																								
52	資料14	<p>(調査対象：全国の60歳以上の男女。現在収入のある仕事をしている者。) 内閣府「高齢社会白書」令和3年版より</p>	<p>(調査対象：全国の60歳以上の男女。現在収入のある仕事をしている者。) 内閣府「高齢社会白書」令和6年版より</p>																																																																								

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)
ページ	行		
54	資料1	<p>資料1 世界の高齢化の推移と将来予測</p> <p>(%)</p> <p>— アメリカ — ドイツ — インド — 中国</p> <p>日本</p> <p>世界全体</p> <p>1950 60 70 80 90 2000 10 20 30 40 50 60(年)</p> <p>内閣府「令和4年版高齢社会白書」United Nations「World Population Prospects2022」より作成</p>	<p>資料1 世界の高齢化の推移と将来予測</p> <p>(%)</p> <p>— アメリカ — ドイツ — インド — 中国</p> <p>日本</p> <p>世界全体</p> <p>1950 60 70 80 90 2000 10 20 30 40 50 60(年)</p> <p>内閣府「令和5年版高齢社会白書」United Nations「World Population Prospects2022」より作成</p>
54	資料3	<p>資料3 平均寿命の推移</p> <p>(歳)</p> <p>65.32歳</p> <p>70.19歳</p> <p>81.05歳</p> <p>87.09歳</p> <p>高齢者</p> <p>■ 男 ■ 女</p> <p>1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2022(年)</p> <p>※平均寿命とは、0歳の子どもがその時点の死亡率で生きてと仮定して、平均してあと何年生きられるかを示す年数を指す。</p> <p>厚生労働省「簡易生命表」令和4年より</p>	<p>資料3 平均寿命の推移</p> <p>(歳)</p> <p>65.32歳</p> <p>70.19歳</p> <p>81.09歳</p> <p>87.14歳</p> <p>高齢者</p> <p>■ 男 ■ 女</p> <p>1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2023(年)</p> <p>※平均寿命とは、0歳の子どもがその時点の死亡率で生きてと仮定して、平均してあと何年生きられるかを示す年数を指す。</p> <p>厚生労働省「簡易生命表」令和5年より</p>

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																								
ページ	行																																																										
55	資料5	<p>資料5 養護者(家族介護者等)による高齢者虐待の判断件数</p> <p>厚生労働省『「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査」令和3年度より</p>	<p>資料5 養護者(家族介護者等)による高齢者虐待の判断件数</p> <p>厚生労働省『「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査」令和4年度より</p>																																																								
56	資料9 要介護認定	<p>次判定、介護認定審議会による</p>	<p>次判定、介護認定審査会による</p>																																																								
58	鳥の目グラフ	<p>● 国民負担率(対国民所得比)の国際比較 (OECD加盟34カ国)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>税 (%)</th> <th>社会保障費 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デンマーク</td> <td>65.1</td> <td>1.3</td> <td>66.4</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン</td> <td>53.6</td> <td>5.2</td> <td>58.8</td> </tr> <tr> <td>ドイツ</td> <td>31.2</td> <td>22.2</td> <td>53.4</td> </tr> <tr> <td>イギリス</td> <td>36.3</td> <td>10.5</td> <td>46.9</td> </tr> <tr> <td>日本</td> <td>25.1</td> <td>17.7</td> <td>42.8</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>24.7</td> <td>8.4</td> <td>33.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※租税負担率と社会保障負担率の合計を、国民負担率という。 ※数値は2016年。合計値は合わない場合あり。 日本：内閣府「国民経済計算」等 諸外国：National Accounts (OECD) Revenue Statistics(OECD) より</p>	国	税 (%)	社会保障費 (%)	合計 (%)	デンマーク	65.1	1.3	66.4	スウェーデン	53.6	5.2	58.8	ドイツ	31.2	22.2	53.4	イギリス	36.3	10.5	46.9	日本	25.1	17.7	42.8	アメリカ	24.7	8.4	33.1	<p>● 国民負担率(対国民所得比)の国際比較 (OECD加盟36カ国)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>税 (%)</th> <th>社会保障費 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デンマーク</td> <td>64.1</td> <td>1.0</td> <td>65.1</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン</td> <td>50.0</td> <td>5.1</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>ドイツ</td> <td>32.1</td> <td>22.8</td> <td>54.9</td> </tr> <tr> <td>日本</td> <td>28.9</td> <td>19.2</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>イギリス</td> <td>36.1</td> <td>11.6</td> <td>47.6</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>25.6</td> <td>8.3</td> <td>33.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※租税負担率と社会保障負担率の合計を、国民負担率という。 ※数値は2021年。合計値は合わない場合あり。 日本：内閣府「国民経済計算」等 諸外国：National Accounts (OECD) Revenue Statistics(OECD) より</p>	国	税 (%)	社会保障費 (%)	合計 (%)	デンマーク	64.1	1.0	65.1	スウェーデン	50.0	5.1	55.0	ドイツ	32.1	22.8	54.9	日本	28.9	19.2	48.1	イギリス	36.1	11.6	47.6	アメリカ	25.6	8.3	33.9
国	税 (%)	社会保障費 (%)	合計 (%)																																																								
デンマーク	65.1	1.3	66.4																																																								
スウェーデン	53.6	5.2	58.8																																																								
ドイツ	31.2	22.2	53.4																																																								
イギリス	36.3	10.5	46.9																																																								
日本	25.1	17.7	42.8																																																								
アメリカ	24.7	8.4	33.1																																																								
国	税 (%)	社会保障費 (%)	合計 (%)																																																								
デンマーク	64.1	1.0	65.1																																																								
スウェーデン	50.0	5.1	55.0																																																								
ドイツ	32.1	22.8	54.9																																																								
日本	28.9	19.2	48.1																																																								
イギリス	36.1	11.6	47.6																																																								
アメリカ	25.6	8.3	33.9																																																								



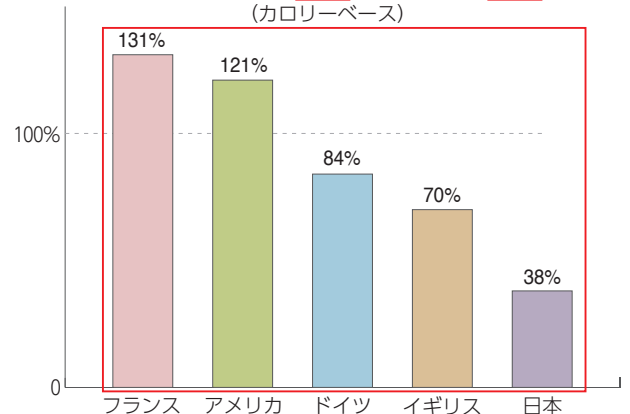
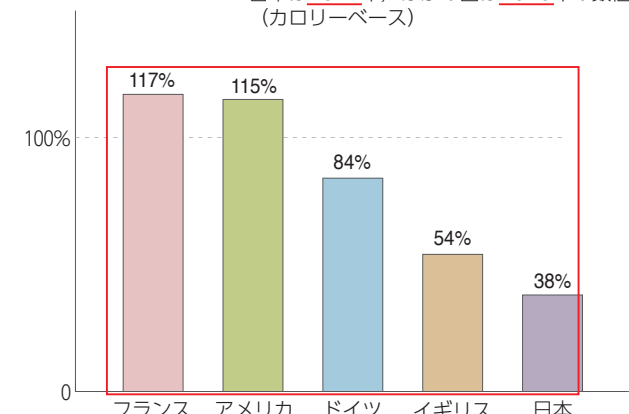
訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																																																																																																																																																																																																								
ページ	行																																																																																																																																																																																																																																										
66	鳥の目表	<p>World Giving Index 2022 上位10位と日本(全119カ国中)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">国名</th> <th colspan="2">総合</th> <th colspan="2">人助け</th> <th colspan="2">寄付</th> <th colspan="2">ボランティア</th> </tr> <tr> <th>順位</th> <th>評価点</th> <th>順位</th> <th>評価点</th> <th>順位</th> <th>評価点</th> <th>順位</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>インドネシア</td><td>1</td><td>68%</td><td>76</td><td>58%</td><td>1</td><td>84%</td><td>1</td><td>63%</td></tr> <tr><td>ケニア</td><td>2</td><td>61%</td><td>7</td><td>77%</td><td>20</td><td>55%</td><td>2</td><td>52%</td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td>3</td><td>59%</td><td>4</td><td>80%</td><td>9</td><td>61%</td><td>7</td><td>37%</td></tr> <tr><td>オーストラリア</td><td>4</td><td>55%</td><td>34</td><td>69%</td><td>6</td><td>64%</td><td>20</td><td>33%</td></tr> <tr><td>ニュージーランド</td><td>5</td><td>54%</td><td>46</td><td>66%</td><td>10</td><td>61%</td><td>14</td><td>34%</td></tr> <tr><td>ミャンマー</td><td>6</td><td>52%</td><td>83</td><td>55%</td><td>2</td><td>73%</td><td>36</td><td>28%</td></tr> <tr><td>シエラレオネ</td><td>7</td><td>51%</td><td>1</td><td>83%</td><td>76</td><td>27%</td><td>3</td><td>44%</td></tr> <tr><td>カナダ</td><td>8</td><td>51%</td><td>50</td><td>65%</td><td>13</td><td>59%</td><td>33</td><td>29%</td></tr> <tr><td>ザンビア</td><td>9</td><td>50%</td><td>18</td><td>74%</td><td>53</td><td>35%</td><td>4</td><td>43%</td></tr> <tr><td>ウクライナ</td><td>10</td><td>49%</td><td>13</td><td>75%</td><td>29</td><td>47%</td><td>54</td><td>24%</td></tr> <tr><td>日本</td><td>118</td><td>20%</td><td>118</td><td>24%</td><td>103</td><td>18%</td><td>83</td><td>17%</td></tr> </tbody> </table>	国名	総合		人助け		寄付		ボランティア		順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	インドネシア	1	68%	76	58%	1	84%	1	63%	ケニア	2	61%	7	77%	20	55%	2	52%	アメリカ	3	59%	4	80%	9	61%	7	37%	オーストラリア	4	55%	34	69%	6	64%	20	33%	ニュージーランド	5	54%	46	66%	10	61%	14	34%	ミャンマー	6	52%	83	55%	2	73%	36	28%	シエラレオネ	7	51%	1	83%	76	27%	3	44%	カナダ	8	51%	50	65%	13	59%	33	29%	ザンビア	9	50%	18	74%	53	35%	4	43%	ウクライナ	10	49%	13	75%	29	47%	54	24%	日本	118	20%	118	24%	103	18%	83	17%	<p>World Giving Index 2023 上位10位と日本(全142カ国中)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">国名</th> <th colspan="2">総合</th> <th colspan="2">人助け</th> <th colspan="2">寄付</th> <th colspan="2">ボランティア</th> </tr> <tr> <th>順位</th> <th>評価点</th> <th>順位</th> <th>評価点</th> <th>順位</th> <th>評価点</th> <th>順位</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>インドネシア</td><td>1</td><td>68%</td><td>75</td><td>61%</td><td>2</td><td>82%</td><td>2</td><td>61%</td></tr> <tr><td>ウクライナ</td><td>2</td><td>62%</td><td>6</td><td>78%</td><td>4</td><td>70%</td><td>12</td><td>37%</td></tr> <tr><td>ケニア</td><td>3</td><td>60%</td><td>8</td><td>76%</td><td>26</td><td>53%</td><td>4</td><td>51%</td></tr> <tr><td>リベリア</td><td>4</td><td>58%</td><td>2</td><td>80%</td><td>71</td><td>30%</td><td>1</td><td>65%</td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td>5</td><td>58%</td><td>8</td><td>76%</td><td>12</td><td>61%</td><td>9</td><td>38%</td></tr> <tr><td>ミャンマー</td><td>6</td><td>57%</td><td>99</td><td>54%</td><td>1</td><td>83%</td><td>22</td><td>34%</td></tr> <tr><td>クウェート</td><td>7</td><td>57%</td><td>4</td><td>79%</td><td>23</td><td>54%</td><td>12</td><td>37%</td></tr> <tr><td>カナダ</td><td>8</td><td>54%</td><td>41</td><td>67%</td><td>11</td><td>62%</td><td>32</td><td>32%</td></tr> <tr><td>ナイジェリア</td><td>9</td><td>53%</td><td>4</td><td>79%</td><td>42</td><td>41%</td><td>12</td><td>37%</td></tr> <tr><td>ニュージーランド</td><td>10</td><td>53%</td><td>54</td><td>65%</td><td>16</td><td>58%</td><td>19</td><td>35%</td></tr> <tr><td>日本</td><td>139</td><td>18%</td><td>142</td><td>21%</td><td>120</td><td>16%</td><td>98</td><td>17%</td></tr> </tbody> </table>	国名	総合		人助け		寄付		ボランティア		順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	インドネシア	1	68%	75	61%	2	82%	2	61%	ウクライナ	2	62%	6	78%	4	70%	12	37%	ケニア	3	60%	8	76%	26	53%	4	51%	リベリア	4	58%	2	80%	71	30%	1	65%	アメリカ	5	58%	8	76%	12	61%	9	38%	ミャンマー	6	57%	99	54%	1	83%	22	34%	クウェート	7	57%	4	79%	23	54%	12	37%	カナダ	8	54%	41	67%	11	62%	32	32%	ナイジェリア	9	53%	4	79%	42	41%	12	37%	ニュージーランド	10	53%	54	65%	16	58%	19	35%	日本	139	18%	142	21%	120	16%	98	17%
国名	総合			人助け		寄付		ボランティア																																																																																																																																																																																																																																			
	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点																																																																																																																																																																																																																																			
インドネシア	1	68%	76	58%	1	84%	1	63%																																																																																																																																																																																																																																			
ケニア	2	61%	7	77%	20	55%	2	52%																																																																																																																																																																																																																																			
アメリカ	3	59%	4	80%	9	61%	7	37%																																																																																																																																																																																																																																			
オーストラリア	4	55%	34	69%	6	64%	20	33%																																																																																																																																																																																																																																			
ニュージーランド	5	54%	46	66%	10	61%	14	34%																																																																																																																																																																																																																																			
ミャンマー	6	52%	83	55%	2	73%	36	28%																																																																																																																																																																																																																																			
シエラレオネ	7	51%	1	83%	76	27%	3	44%																																																																																																																																																																																																																																			
カナダ	8	51%	50	65%	13	59%	33	29%																																																																																																																																																																																																																																			
ザンビア	9	50%	18	74%	53	35%	4	43%																																																																																																																																																																																																																																			
ウクライナ	10	49%	13	75%	29	47%	54	24%																																																																																																																																																																																																																																			
日本	118	20%	118	24%	103	18%	83	17%																																																																																																																																																																																																																																			
国名	総合		人助け		寄付		ボランティア																																																																																																																																																																																																																																				
	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点																																																																																																																																																																																																																																			
インドネシア	1	68%	75	61%	2	82%	2	61%																																																																																																																																																																																																																																			
ウクライナ	2	62%	6	78%	4	70%	12	37%																																																																																																																																																																																																																																			
ケニア	3	60%	8	76%	26	53%	4	51%																																																																																																																																																																																																																																			
リベリア	4	58%	2	80%	71	30%	1	65%																																																																																																																																																																																																																																			
アメリカ	5	58%	8	76%	12	61%	9	38%																																																																																																																																																																																																																																			
ミャンマー	6	57%	99	54%	1	83%	22	34%																																																																																																																																																																																																																																			
クウェート	7	57%	4	79%	23	54%	12	37%																																																																																																																																																																																																																																			
カナダ	8	54%	41	67%	11	62%	32	32%																																																																																																																																																																																																																																			
ナイジェリア	9	53%	4	79%	42	41%	12	37%																																																																																																																																																																																																																																			
ニュージーランド	10	53%	54	65%	16	58%	19	35%																																																																																																																																																																																																																																			
日本	139	18%	142	21%	120	16%	98	17%																																																																																																																																																																																																																																			
66	鳥の目表																																																																																																																																																																																																																																										
66	鳥の目11～12	<p>本の世界寄付指数はとても低く、<u>119</u>か国の中で<u>118位</u>である。</p>	<p>本の世界寄付指数はとても低く、<u>142</u>か国の中で<u>139位</u>である。</p>																																																																																																																																																																																																																																								

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)																		
ページ	行																			
68	上段	<p>これから日本はどうなるの？ (総人口と人口比率) (内閣府「高齢社会白書」令和5年版)</p> <table border="1"> <caption>2022年と2070年の人口構成</caption> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>2022年 (万人)</th> <th>2070年 (万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~14歳</td> <td>1450</td> <td>797</td> </tr> <tr> <td>15~64歳 (生産年齢人口)</td> <td>7421</td> <td>4535</td> </tr> <tr> <td>65~74歳</td> <td>1687</td> <td>1187</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>1936</td> <td>2180</td> </tr> <tr> <td>総人口</td> <td>1億2495</td> <td>8700</td> </tr> </tbody> </table>	年齢層	2022年 (万人)	2070年 (万人)	0~14歳	1450	797	15~64歳 (生産年齢人口)	7421	4535	65~74歳	1687	1187	75歳以上	1936	2180	総人口	1億2495	8700
年齢層	2022年 (万人)	2070年 (万人)																		
0~14歳	1450	797																		
15~64歳 (生産年齢人口)	7421	4535																		
65~74歳	1687	1187																		
75歳以上	1936	2180																		
総人口	1億2495	8700																		

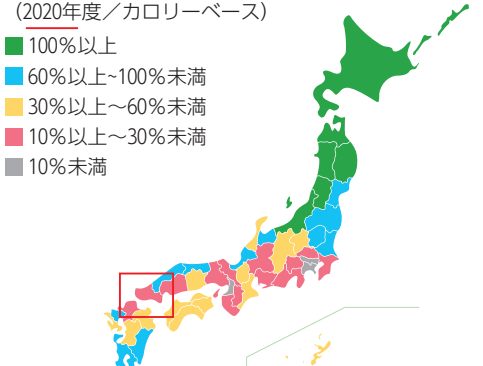
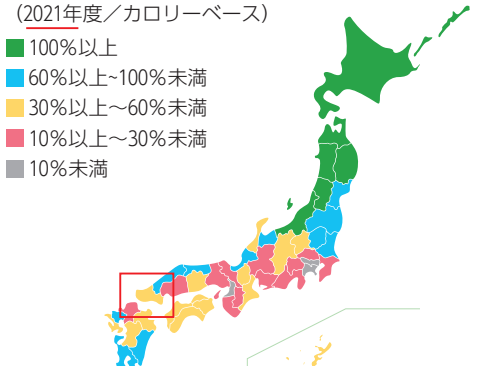
訂正箇所		令和7年度教科書(新)																		
ページ	行																			
68	上段	<p>これから日本はどうなるの？ (総人口と人口比率) (内閣府「高齢社会白書」令和6年版)</p> <table border="1"> <caption>2023年と2070年の人口推計</caption> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>2023年 (万人)</th> <th>2070年 (万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~14歳</td> <td>1417</td> <td>797</td> </tr> <tr> <td>15~64歳 (生産年齢人口)</td> <td>7395</td> <td>4535</td> </tr> <tr> <td>65~74歳</td> <td>1615</td> <td>1187</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>2008</td> <td>2180</td> </tr> <tr> <td>総人口</td> <td>1億2435</td> <td>8700</td> </tr> </tbody> </table>	年齢層	2023年 (万人)	2070年 (万人)	0~14歳	1417	797	15~64歳 (生産年齢人口)	7395	4535	65~74歳	1615	1187	75歳以上	2008	2180	総人口	1億2435	8700
年齢層	2023年 (万人)	2070年 (万人)																		
0~14歳	1417	797																		
15~64歳 (生産年齢人口)	7395	4535																		
65~74歳	1615	1187																		
75歳以上	2008	2180																		
総人口	1億2435	8700																		

訂正箇所		令和6年度教科書（旧）	令和7年度教科書（新）
ページ	行		
68	中段 男性	<p>延びていく 平均寿命 (平均寿命の変化) (内閣府「高齢社会白書」 令和5年版)</p> <p>2070年 85.89歳</p> <p>2021年 81.47歳</p> <p>男性の平均寿命</p>	<p>延びていく 平均寿命 (平均寿命の変化) (内閣府「高齢社会白書」 令和6年版)</p> <p>2070年 85.89歳</p> <p>2022年 81.05歳</p> <p>男性の平均寿命</p>
68	中段 女性	<p>2021年 87.57歳</p> <p>の平均寿命</p>	<p>2022年 87.09歳</p> <p>の平均寿命</p>
68	下段	<p>(内閣府「高齢社会白書」 令和5年版)</p> <p>2021年 6.6人 出生数 812,000人</p> <p>人口 1000人あたりで生まれる子ども</p> <p>2070年 5.7人 出生数 500,000人</p>	<p>(内閣府「高齢社会白書」 令和6年版)</p> <p>2022年 6.3人 出生数 771,000人</p> <p>人口 1000人あたりで生まれる子ども</p> <p>2070年 5.8人 出生数 453,000人</p>

訂正箇所		令和6年度教科書（旧）	令和7年度教科書（新）																																
ページ	行																																		
73	資料3 65歳以上	<p>*カルシウム不足は骨粗鬆症、塩分の摂りすぎは高血圧予防のために必要。</p>	<p>*カルシウム不足は骨粗鬆症、塩分の摂りすぎは高血圧の原因のひとつである。</p>																																
78	TRY 資料1 グラフ	<p>●供給熱量の内訳の推移</p> <table border="1"> <caption>供給熱量の内訳の推移 (2021年度)</caption> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>米</td><td>21.3</td></tr> <tr><td>畜産物</td><td>18.0</td></tr> <tr><td>油脂類</td><td>15.0</td></tr> <tr><td>小麦</td><td>13.2</td></tr> <tr><td>いも類・でんぷん</td><td>8.3</td></tr> <tr><td>魚介類</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>その他</td><td>20.5</td></tr> </tbody> </table> <p>農林水産省「食料需給表」令和3年度より</p>	品目	割合 (%)	米	21.3	畜産物	18.0	油脂類	15.0	小麦	13.2	いも類・でんぷん	8.3	魚介類	3.7	その他	20.5	<p>●供給熱量の内訳の推移</p> <table border="1"> <caption>供給熱量の内訳の推移 (2022年度)</caption> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>米</td><td>21.1</td></tr> <tr><td>畜産物</td><td>18.1</td></tr> <tr><td>油脂類</td><td>14.5</td></tr> <tr><td>小麦</td><td>13.2</td></tr> <tr><td>いも類・でんぷん</td><td>8.7</td></tr> <tr><td>魚介類</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>その他</td><td>21.1</td></tr> </tbody> </table> <p>農林水産省「食料需給表」令和4年度より</p>	品目	割合 (%)	米	21.1	畜産物	18.1	油脂類	14.5	小麦	13.2	いも類・でんぷん	8.7	魚介類	3.5	その他	21.1
品目	割合 (%)																																		
米	21.3																																		
畜産物	18.0																																		
油脂類	15.0																																		
小麦	13.2																																		
いも類・でんぷん	8.3																																		
魚介類	3.7																																		
その他	20.5																																		
品目	割合 (%)																																		
米	21.1																																		
畜産物	18.1																																		
油脂類	14.5																																		
小麦	13.2																																		
いも類・でんぷん	8.7																																		
魚介類	3.5																																		
その他	21.1																																		
78	TRY 資料2 グラフ	<p>日本 (2021年)</p> <table border="1"> <caption>日本 (2021年) の食料エネルギー摂取構成</caption> <thead> <tr> <th>成分</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>C (炭水化物)</td><td>54.2</td></tr> <tr><td>P (タンパク質)</td><td>13.7</td></tr> <tr><td>F (脂質)</td><td>32.1</td></tr> </tbody> </table>	成分	割合 (%)	C (炭水化物)	54.2	P (タンパク質)	13.7	F (脂質)	32.1	<p>日本 (2022年)</p> <table border="1"> <caption>日本 (2022年) の食料エネルギー摂取構成</caption> <thead> <tr> <th>成分</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>C (炭水化物)</td><td>54.7</td></tr> <tr><td>P (タンパク質)</td><td>13.6</td></tr> <tr><td>F (脂質)</td><td>31.6</td></tr> </tbody> </table>	成分	割合 (%)	C (炭水化物)	54.7	P (タンパク質)	13.6	F (脂質)	31.6																
成分	割合 (%)																																		
C (炭水化物)	54.2																																		
P (タンパク質)	13.7																																		
F (脂質)	32.1																																		
成分	割合 (%)																																		
C (炭水化物)	54.7																																		
P (タンパク質)	13.6																																		
F (脂質)	31.6																																		

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)
ページ	行		
89	資料4	<p>落花生 (ピーナッツ) えび かに くるみ*</p>  <p>削除</p> <p>アーモンド、<u>あわび</u>、いか、いくら、さけ、さば、オレンジ、キウイフルーツ、バナナ、もも、りんご、牛肉、鶏肉、豚肉、ゼラチン、カシューナッツ、ごま、大豆、<u>まつたけ</u>、やまいも</p> <p>*くるみの表示義務は、2025年3月31日まで経過措置期間。</p>	<p>落花生 (ピーナッツ) えび かに くるみ</p>  <p>アーモンド、<u>マカダミアナッツ</u>、あわび、いか、いくら、さけ、さば、オレンジ、キウイフルーツ、バナナ、もも、りんご、牛肉、鶏肉、豚肉、ゼラチン、カシューナッツ、ごま、大豆、やまいも</p>
119	資料1	<p>※日本は2021年、ほかの国は2019年の数値 (カロリーベース)</p>  <p>農林水産省「食料需給表」より</p>	<p>※日本は2022年、ほかの国は2020年の数値 (カロリーベース)</p>  <p>農林水産省「食料需給表」より</p>

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																
ページ	行																																																		
119	資料2	<p>資料2 品目別の食料自給率 (2021年, 重量ベース)</p> <table border="1"> <tr> <td>米 98%</td> <td></td> <td>肉類 53%*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小麦 17%</td> <td></td> <td>牛乳及び 乳製品63%*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>いも類 72%</td> <td></td> <td>魚介類 (食用) 59%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大豆 7%</td> <td></td> <td>海藻類 かいそう 69%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野菜 79%</td> <td></td> <td>油脂類 14%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>果実 39%</td> <td></td> <td>きのこ類 89%</td> <td></td> </tr> </table>	米 98%		肉類 53%*		小麦 17%		牛乳及び 乳製品63%*		いも類 72%		魚介類 (食用) 59%		大豆 7%		海藻類 かいそう 69%		野菜 79%		油脂類 14%		果実 39%		きのこ類 89%		<p>資料2 品目別の食料自給率 (2022年, 重量ベース)</p> <table border="1"> <tr> <td>米 99%</td> <td></td> <td>肉類 53%*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小麦 15%</td> <td></td> <td>牛乳及び 乳製品62%*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>いも類 70%</td> <td></td> <td>魚介類 (食用) 56%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大豆 6%</td> <td></td> <td>海藻類 かいそう 67%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野菜 79%</td> <td></td> <td>油脂類 14%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>果実 39%</td> <td></td> <td>きのこ類 89%</td> <td></td> </tr> </table>	米 99%		肉類 53%*		小麦 15%		牛乳及び 乳製品62%*		いも類 70%		魚介類 (食用) 56%		大豆 6%		海藻類 かいそう 67%		野菜 79%		油脂類 14%		果実 39%		きのこ類 89%	
米 98%		肉類 53%*																																																	
小麦 17%		牛乳及び 乳製品63%*																																																	
いも類 72%		魚介類 (食用) 59%																																																	
大豆 7%		海藻類 かいそう 69%																																																	
野菜 79%		油脂類 14%																																																	
果実 39%		きのこ類 89%																																																	
米 99%		肉類 53%*																																																	
小麦 15%		牛乳及び 乳製品62%*																																																	
いも類 70%		魚介類 (食用) 56%																																																	
大豆 6%		海藻類 かいそう 67%																																																	
野菜 79%		油脂類 14%																																																	
果実 39%		きのこ類 89%																																																	

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																																																																																																																																																																								
ページ	行																																																																																																																																																																																																										
119	資料3	<p>(2020年度/カロリーベース)</p>  <p>(単位%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>北海道</th> <th>埼玉</th> <th>岐阜</th> <th>鳥取</th> <th>佐賀</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>217</td><td>10</td><td>24</td><td>60</td><td>85</td></tr> <tr> <th>青森</th> <th>千葉</th> <th>静岡</th> <th>島根</th> <th>長崎</th> </tr> <tr><td>125</td><td>24</td><td>15</td><td>60</td><td>38</td></tr> <tr> <th>岩手</th> <th>東京</th> <th>愛知</th> <th>岡山</th> <th>熊本</th> </tr> <tr><td>105</td><td>0</td><td>11</td><td>35</td><td>55</td></tr> <tr> <th>宮城</th> <th>神奈川</th> <th>三重</th> <th>広島</th> <th>大分</th> </tr> <tr><td>72</td><td>2</td><td>38</td><td>21</td><td>40</td></tr> <tr> <th>秋田</th> <th>新潟</th> <th>滋賀</th> <th>山口</th> <th>宮崎</th> </tr> <tr><td>200</td><td>111</td><td>47</td><td>24</td><td>61</td></tr> <tr> <th>山形</th> <th>富山</th> <th>京都</th> <th>徳島</th> <th>鹿児島</th> </tr> <tr><td>143</td><td>75</td><td>11</td><td>41</td><td>77</td></tr> <tr> <th>福島</th> <th>石川</th> <th>大阪</th> <th>香川</th> <th>沖縄</th> </tr> <tr><td>77</td><td>46</td><td>1</td><td>33</td><td>32</td></tr> <tr> <th>茨城</th> <th>福井</th> <th>兵庫</th> <th>愛媛</th> <td></td> </tr> <tr><td>68</td><td>64</td><td>15</td><td>34</td><td></td></tr> <tr> <th>栃木</th> <th>山梨</th> <th>奈良</th> <th>高知</th> <td></td> </tr> <tr><td>71</td><td>18</td><td>13</td><td>43</td><td></td></tr> <tr> <th>群馬</th> <th>長野</th> <th>和歌山</th> <th>福岡</th> <td></td> </tr> <tr><td>32</td><td>51</td><td>27</td><td>17</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>農林水産省「都道府県別食料自給率の推移」より</p>	北海道	埼玉	岐阜	鳥取	佐賀	217	10	24	60	85	青森	千葉	静岡	島根	長崎	125	24	15	60	38	岩手	東京	愛知	岡山	熊本	105	0	11	35	55	宮城	神奈川	三重	広島	大分	72	2	38	21	40	秋田	新潟	滋賀	山口	宮崎	200	111	47	24	61	山形	富山	京都	徳島	鹿児島	143	75	11	41	77	福島	石川	大阪	香川	沖縄	77	46	1	33	32	茨城	福井	兵庫	愛媛		68	64	15	34		栃木	山梨	奈良	高知		71	18	13	43		群馬	長野	和歌山	福岡		32	51	27	17		<p>(2021年度/カロリーベース)</p>  <p>(単位%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>北海道</th> <th>埼玉</th> <th>岐阜</th> <th>鳥取</th> <th>佐賀</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>223</td><td>10</td><td>25</td><td>61</td><td>95</td></tr> <tr> <th>青森</th> <th>千葉</th> <th>静岡</th> <th>島根</th> <th>長崎</th> </tr> <tr><td>120</td><td>24</td><td>16</td><td>63</td><td>41</td></tr> <tr> <th>岩手</th> <th>東京</th> <th>愛知</th> <th>岡山</th> <th>熊本</th> </tr> <tr><td>108</td><td>0</td><td>12</td><td>36</td><td>58</td></tr> <tr> <th>宮城</th> <th>神奈川</th> <th>三重</th> <th>広島</th> <th>大分</th> </tr> <tr><td>72</td><td>2</td><td>40</td><td>22</td><td>46</td></tr> <tr> <th>秋田</th> <th>新潟</th> <th>滋賀</th> <th>山口</th> <th>宮崎</th> </tr> <tr><td>204</td><td>109</td><td>49</td><td>31</td><td>64</td></tr> <tr> <th>山形</th> <th>富山</th> <th>京都</th> <th>徳島</th> <th>鹿児島</th> </tr> <tr><td>147</td><td>77</td><td>12</td><td>40</td><td>79</td></tr> <tr> <th>福島</th> <th>石川</th> <th>大阪</th> <th>香川</th> <th>沖縄</th> </tr> <tr><td>75</td><td>46</td><td>1</td><td>33</td><td>32</td></tr> <tr> <th>茨城</th> <th>福井</th> <th>兵庫</th> <th>愛媛</th> <td></td> </tr> <tr><td>70</td><td>65</td><td>16</td><td>37</td><td></td></tr> <tr> <th>栃木</th> <th>山梨</th> <th>奈良</th> <th>高知</th> <td></td> </tr> <tr><td>71</td><td>19</td><td>14</td><td>45</td><td></td></tr> <tr> <th>群馬</th> <th>長野</th> <th>和歌山</th> <th>福岡</th> <td></td> </tr> <tr><td>33</td><td>52</td><td>29</td><td>20</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>農林水産省「都道府県別食料自給率の推移」より</p>	北海道	埼玉	岐阜	鳥取	佐賀	223	10	25	61	95	青森	千葉	静岡	島根	長崎	120	24	16	63	41	岩手	東京	愛知	岡山	熊本	108	0	12	36	58	宮城	神奈川	三重	広島	大分	72	2	40	22	46	秋田	新潟	滋賀	山口	宮崎	204	109	49	31	64	山形	富山	京都	徳島	鹿児島	147	77	12	40	79	福島	石川	大阪	香川	沖縄	75	46	1	33	32	茨城	福井	兵庫	愛媛		70	65	16	37		栃木	山梨	奈良	高知		71	19	14	45		群馬	長野	和歌山	福岡		33	52	29	20	
北海道	埼玉	岐阜	鳥取	佐賀																																																																																																																																																																																																							
217	10	24	60	85																																																																																																																																																																																																							
青森	千葉	静岡	島根	長崎																																																																																																																																																																																																							
125	24	15	60	38																																																																																																																																																																																																							
岩手	東京	愛知	岡山	熊本																																																																																																																																																																																																							
105	0	11	35	55																																																																																																																																																																																																							
宮城	神奈川	三重	広島	大分																																																																																																																																																																																																							
72	2	38	21	40																																																																																																																																																																																																							
秋田	新潟	滋賀	山口	宮崎																																																																																																																																																																																																							
200	111	47	24	61																																																																																																																																																																																																							
山形	富山	京都	徳島	鹿児島																																																																																																																																																																																																							
143	75	11	41	77																																																																																																																																																																																																							
福島	石川	大阪	香川	沖縄																																																																																																																																																																																																							
77	46	1	33	32																																																																																																																																																																																																							
茨城	福井	兵庫	愛媛																																																																																																																																																																																																								
68	64	15	34																																																																																																																																																																																																								
栃木	山梨	奈良	高知																																																																																																																																																																																																								
71	18	13	43																																																																																																																																																																																																								
群馬	長野	和歌山	福岡																																																																																																																																																																																																								
32	51	27	17																																																																																																																																																																																																								
北海道	埼玉	岐阜	鳥取	佐賀																																																																																																																																																																																																							
223	10	25	61	95																																																																																																																																																																																																							
青森	千葉	静岡	島根	長崎																																																																																																																																																																																																							
120	24	16	63	41																																																																																																																																																																																																							
岩手	東京	愛知	岡山	熊本																																																																																																																																																																																																							
108	0	12	36	58																																																																																																																																																																																																							
宮城	神奈川	三重	広島	大分																																																																																																																																																																																																							
72	2	40	22	46																																																																																																																																																																																																							
秋田	新潟	滋賀	山口	宮崎																																																																																																																																																																																																							
204	109	49	31	64																																																																																																																																																																																																							
山形	富山	京都	徳島	鹿児島																																																																																																																																																																																																							
147	77	12	40	79																																																																																																																																																																																																							
福島	石川	大阪	香川	沖縄																																																																																																																																																																																																							
75	46	1	33	32																																																																																																																																																																																																							
茨城	福井	兵庫	愛媛																																																																																																																																																																																																								
70	65	16	37																																																																																																																																																																																																								
栃木	山梨	奈良	高知																																																																																																																																																																																																								
71	19	14	45																																																																																																																																																																																																								
群馬	長野	和歌山	福岡																																																																																																																																																																																																								
33	52	29	20																																																																																																																																																																																																								

訂正箇所		令和6年度教科書（旧）	令和7年度教科書（新）																																																																					
ページ	行																																																																							
122	鳥の目 グラフ	<p>(億トン) 世界全体の穀物生産量と消費量</p> <table border="1"> <caption>世界全体の穀物生産量と消費量 (億トン)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>生産量</th> <th>消費量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2004</td><td>20.0</td><td>20.0</td></tr> <tr><td>2006</td><td>20.0</td><td>20.0</td></tr> <tr><td>2008</td><td>22.5</td><td>21.5</td></tr> <tr><td>2010</td><td>22.5</td><td>22.5</td></tr> <tr><td>2012</td><td>23.0</td><td>23.0</td></tr> <tr><td>2014</td><td>25.5</td><td>24.5</td></tr> <tr><td>2016</td><td>26.5</td><td>25.5</td></tr> <tr><td>2018</td><td>26.0</td><td>26.0</td></tr> <tr><td>2020</td><td>27.0</td><td>27.0</td></tr> <tr><td>2021</td><td>27.9</td><td>27.9</td></tr> </tbody> </table> <p>— 生産量 — 消費量</p> <p>2004 /05 06 /07 08 /09 10 /11 12 /13 14 /15 16 /17 18 /19 20 /21 21(年度)</p> <p>農林水産省「食料・農業・農村白書」より</p>	年度	生産量	消費量	2004	20.0	20.0	2006	20.0	20.0	2008	22.5	21.5	2010	22.5	22.5	2012	23.0	23.0	2014	25.5	24.5	2016	26.5	25.5	2018	26.0	26.0	2020	27.0	27.0	2021	27.9	27.9	<p>(億トン) 世界全体の穀物生産量と消費量</p> <table border="1"> <caption>世界全体の穀物生産量と消費量 (億トン)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>生産量</th> <th>消費量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2004</td><td>20.0</td><td>20.0</td></tr> <tr><td>2006</td><td>20.0</td><td>20.0</td></tr> <tr><td>2008</td><td>22.5</td><td>21.5</td></tr> <tr><td>2010</td><td>22.5</td><td>22.5</td></tr> <tr><td>2012</td><td>23.0</td><td>23.0</td></tr> <tr><td>2014</td><td>25.5</td><td>24.5</td></tr> <tr><td>2016</td><td>26.5</td><td>25.5</td></tr> <tr><td>2018</td><td>26.0</td><td>26.0</td></tr> <tr><td>2020</td><td>27.0</td><td>27.0</td></tr> <tr><td>2022</td><td>28.0</td><td>28.0</td></tr> <tr><td>2023</td><td>28.1</td><td>28.1</td></tr> </tbody> </table> <p>— 生産量 — 消費量</p> <p>2004 /05 /07 /09 /11 /13 /15 /17 /19 /21 /23/24(年度)</p> <p>農林水産省「食料・農業・農村白書」より</p>	年度	生産量	消費量	2004	20.0	20.0	2006	20.0	20.0	2008	22.5	21.5	2010	22.5	22.5	2012	23.0	23.0	2014	25.5	24.5	2016	26.5	25.5	2018	26.0	26.0	2020	27.0	27.0	2022	28.0	28.0	2023	28.1	28.1
年度	生産量	消費量																																																																						
2004	20.0	20.0																																																																						
2006	20.0	20.0																																																																						
2008	22.5	21.5																																																																						
2010	22.5	22.5																																																																						
2012	23.0	23.0																																																																						
2014	25.5	24.5																																																																						
2016	26.5	25.5																																																																						
2018	26.0	26.0																																																																						
2020	27.0	27.0																																																																						
2021	27.9	27.9																																																																						
年度	生産量	消費量																																																																						
2004	20.0	20.0																																																																						
2006	20.0	20.0																																																																						
2008	22.5	21.5																																																																						
2010	22.5	22.5																																																																						
2012	23.0	23.0																																																																						
2014	25.5	24.5																																																																						
2016	26.5	25.5																																																																						
2018	26.0	26.0																																																																						
2020	27.0	27.0																																																																						
2022	28.0	28.0																																																																						
2023	28.1	28.1																																																																						

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)
ページ	行		
136	資料4	<div data-bbox="376 295 1702 805"> <p>家庭洗濯</p> <p>40℃限度洗濯機「標準」*</p> <p>30℃限度洗濯機「弱」</p> <p>40℃限度手洗い</p> <p>家庭洗濯禁止</p> <p>*洗濯機の機種によって異なる。</p> <p>漂白</p> <p>漂白できる</p> <p>酸素系漂白剤のみ使用可(塩素系漂白剤の使用禁止)</p> <p>漂白禁止</p> <p>タンブル乾燥(乾燥機)</p> <p>高温80℃まで</p> <p>タンブル乾燥禁止</p> <p>自然乾燥</p> <p>つり干し</p> <p>平干し</p> <p>平干し日陰</p> <p>アイロン</p> <p>高温200℃まで</p> <p>中温150℃まで</p> <p>低温110℃まで(スチームなし)</p> <p>アイロン禁止</p> <p>クリーニング</p> <p>ドライクリーニング 通常処理</p> <p>ドライクリーニング 石油系溶剤</p> <p>ウェットクリーニング 通常処理</p> <p>ドライクリーニング 禁止</p> </div>	<div data-bbox="631 906 1960 1417"> <p>家庭洗濯</p> <p>40℃限度洗濯機「標準」*</p> <p>30℃限度洗濯機「弱」</p> <p>40℃限度手洗い</p> <p>家庭洗濯禁止</p> <p>*洗濯機の機種によって異なる。</p> <p>漂白</p> <p>漂白できる</p> <p>酸素系漂白剤のみ使用可(塩素系漂白剤の使用禁止)</p> <p>漂白禁止</p> <p>自然乾燥</p> <p>つり干し</p> <p>平干し</p> <p>平干し日陰</p> <p>タンブル乾燥(乾燥機)</p> <p>高温80℃まで</p> <p>タンブル乾燥禁止</p> <p>アイロン禁止</p> <p>アイロン</p> <p>高温210℃まで</p> <p>中温160℃まで</p> <p>低温120℃まで</p> <p>低温120℃まで(スチームなし)</p> <p>アイロン禁止</p> <p>クリーニング</p> <p>ドライクリーニング 通常処理</p> <p>ドライクリーニング 石油系溶剤</p> <p>ウェットクリーニング 通常処理</p> <p>ドライクリーニング 禁止</p> </div>

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																				
ページ	行																																						
144	資料3	<p>資料3 衣服*はどのくらい輸入されている？ (輸入浸透率)</p> <p>数量ベース</p> <table border="1"> <caption>輸入浸透率 (数量ベース)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>浸透率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1990</td><td>48.5</td></tr> <tr><td>1995</td><td>70.1</td></tr> <tr><td>2000</td><td>85.5</td></tr> <tr><td>2005</td><td>93.5</td></tr> <tr><td>2010</td><td>96.0</td></tr> <tr><td>2015</td><td>97.3</td></tr> <tr><td>2020</td><td>98.0</td></tr> <tr><td>2021</td><td>98.2</td></tr> </tbody> </table> <p>*衣服=布帛^{ひもく}外衣+布帛^{ひもく}下着+ニット^{ニット}外衣+ニット^{ニット}下着 輸入浸透率=輸入量÷(生産量+輸入量-輸出量)×100 日本化学繊維協会「繊維ハンドブック」より作成</p>	年	浸透率 (%)	1990	48.5	1995	70.1	2000	85.5	2005	93.5	2010	96.0	2015	97.3	2020	98.0	2021	98.2	<p>資料3 衣服*はどのくらい輸入されている？ (輸入浸透率)</p> <p>数量ベース</p> <table border="1"> <caption>輸入浸透率 (数量ベース)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>浸透率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1990</td><td>48.5</td></tr> <tr><td>1995</td><td>70.1</td></tr> <tr><td>2000</td><td>85.5</td></tr> <tr><td>2005</td><td>93.5</td></tr> <tr><td>2010</td><td>96.0</td></tr> <tr><td>2015</td><td>97.3</td></tr> <tr><td>2020</td><td>98.0</td></tr> <tr><td>2022</td><td>98.5</td></tr> </tbody> </table> <p>*衣服=布帛^{ひもく}外衣+布帛^{ひもく}下着+ニット^{ニット}外衣+ニット^{ニット}下着 輸入浸透率=輸入量÷(生産量+輸入量-輸出量)×100 日本化学繊維協会「繊維ハンドブック」より作成</p>	年	浸透率 (%)	1990	48.5	1995	70.1	2000	85.5	2005	93.5	2010	96.0	2015	97.3	2020	98.0	2022	98.5
年	浸透率 (%)																																						
1990	48.5																																						
1995	70.1																																						
2000	85.5																																						
2005	93.5																																						
2010	96.0																																						
2015	97.3																																						
2020	98.0																																						
2021	98.2																																						
年	浸透率 (%)																																						
1990	48.5																																						
1995	70.1																																						
2000	85.5																																						
2005	93.5																																						
2010	96.0																																						
2015	97.3																																						
2020	98.0																																						
2022	98.5																																						
144	TRY グラフ	<p>繊維製品輸入相手国 (2022年)</p> <p>金額ベース</p> <table border="1"> <caption>繊維製品輸入相手国 (2022年)</caption> <thead> <tr> <th>相手国</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>中国</td><td>56.4%</td></tr> <tr><td>ベトナム</td><td>14.4%</td></tr> <tr><td>インドネシア</td><td>3.6%</td></tr> <tr><td>カンボジア</td><td>3.5%</td></tr> <tr><td>ミャンマー</td><td>3.1%</td></tr> <tr><td>イタリア</td><td>2.6%</td></tr> <tr><td>バングラデシュ</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>12.4%</td></tr> </tbody> </table> <p>輸入額 4兆6,349億円</p> <p>日本繊維輸入組合「繊維製品・主要国別輸入の推移」より作成</p>	相手国	割合 (%)	中国	56.4%	ベトナム	14.4%	インドネシア	3.6%	カンボジア	3.5%	ミャンマー	3.1%	イタリア	2.6%	バングラデシュ	4.0%	その他	12.4%	<p>繊維製品輸入相手国 (2023年)</p> <p>金額ベース</p> <table border="1"> <caption>繊維製品輸入相手国 (2023年)</caption> <thead> <tr> <th>相手国</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>中国</td><td>53.0%</td></tr> <tr><td>ベトナム</td><td>15.7%</td></tr> <tr><td>インドネシア</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>カンボジア</td><td>3.6%</td></tr> <tr><td>ミャンマー</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>イタリア</td><td>3.4%</td></tr> <tr><td>バングラデシュ</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>12.7%</td></tr> </tbody> </table> <p>輸入額 4兆5,891億円</p> <p>日本繊維輸入組合「繊維製品・主要国別輸入の推移」より作成</p>	相手国	割合 (%)	中国	53.0%	ベトナム	15.7%	インドネシア	3.8%	カンボジア	3.6%	ミャンマー	3.8%	イタリア	3.4%	バングラデシュ	4.0%	その他	12.7%
相手国	割合 (%)																																						
中国	56.4%																																						
ベトナム	14.4%																																						
インドネシア	3.6%																																						
カンボジア	3.5%																																						
ミャンマー	3.1%																																						
イタリア	2.6%																																						
バングラデシュ	4.0%																																						
その他	12.4%																																						
相手国	割合 (%)																																						
中国	53.0%																																						
ベトナム	15.7%																																						
インドネシア	3.8%																																						
カンボジア	3.6%																																						
ミャンマー	3.8%																																						
イタリア	3.4%																																						
バングラデシュ	4.0%																																						
その他	12.7%																																						

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																																														
ページ	行																																																																																
152	資料4	<p>資料1 家庭内事故による年間死者数と交通事故による年間死者数の比較(令和4年)</p> <p>(人) *年齢不詳を含む。</p> <table border="1"> <tr> <th>事故種別</th> <th>年齢層</th> <th>死者数</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">家庭内事故による死者数</td> <td>65歳以上</td> <td>13,896</td> </tr> <tr> <td>5~64歳</td> <td>1,685</td> </tr> <tr> <td>0~4歳</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>交通事故による死者数</td> <td>-</td> <td>3,541</td> </tr> </table> <p>厚生労働省「人口動態統計」より</p>	事故種別	年齢層	死者数	家庭内事故による死者数	65歳以上	13,896	5~64歳	1,685	0~4歳	79	交通事故による死者数	-	3,541	<p>資料1 家庭内事故による年間死者数と交通事故による年間死者数の比較(令和5年)</p> <p>(人) *年齢不詳を含む。</p> <table border="1"> <tr> <th>事故種別</th> <th>年齢層</th> <th>死者数</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">家庭内事故による死者数</td> <td>65歳以上</td> <td>14,247</td> </tr> <tr> <td>5~64歳</td> <td>1,705</td> </tr> <tr> <td>0~4歳</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>交通事故による死者数</td> <td>-</td> <td>3,573</td> </tr> </table> <p>厚生労働省「人口動態統計」より</p>	事故種別	年齢層	死者数	家庭内事故による死者数	65歳以上	14,247	5~64歳	1,705	0~4歳	86	交通事故による死者数	-	3,573																																																				
事故種別	年齢層	死者数																																																																															
家庭内事故による死者数	65歳以上	13,896																																																																															
	5~64歳	1,685																																																																															
	0~4歳	79																																																																															
交通事故による死者数	-	3,541																																																																															
事故種別	年齢層	死者数																																																																															
家庭内事故による死者数	65歳以上	14,247																																																																															
	5~64歳	1,705																																																																															
	0~4歳	86																																																																															
交通事故による死者数	-	3,573																																																																															
153	資料3	<p>資料3 出火の原因は？</p> <p>(令和3年中)</p> <p>建物火災 19,549件 (100%)</p> <table border="1"> <tr> <th>原因</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>建物火災</td> <td>19,549</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8,115</td> <td>41.5%</td> </tr> <tr> <td>こんろ</td> <td>2,617</td> <td>13.4%</td> </tr> <tr> <td>たばこ</td> <td>1,721</td> <td>8.8%</td> </tr> <tr> <td>電気機器</td> <td>1,413</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>配線器具</td> <td>1,187</td> <td>6.1%</td> </tr> <tr> <td>放火</td> <td>1,072</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>ストーブ</td> <td>1,057</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>電灯電話等の配線</td> <td>985</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>放火の疑い</td> <td>571</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>灯火</td> <td>410</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>電気装置</td> <td>401</td> <td>2.1%</td> </tr> </table> <p>※放火防止は、地域全体で環境を整えることが重要である。 消防庁「消防白書」令和4年版より</p>	原因	件数	割合	建物火災	19,549	100%	その他	8,115	41.5%	こんろ	2,617	13.4%	たばこ	1,721	8.8%	電気機器	1,413	7.2%	配線器具	1,187	6.1%	放火	1,072	5.5%	ストーブ	1,057	5.4%	電灯電話等の配線	985	5.0%	放火の疑い	571	2.9%	灯火	410	2.1%	電気装置	401	2.1%	<p>資料3 出火の原因は？</p> <p>(令和4年中)</p> <p>建物火災 20,167件 (100%)</p> <table border="1"> <tr> <th>原因</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>建物火災</td> <td>20,167</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8,330</td> <td>41.4%</td> </tr> <tr> <td>こんろ</td> <td>2,713</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>たばこ</td> <td>1,844</td> <td>9.1%</td> </tr> <tr> <td>電気機器</td> <td>1,499</td> <td>7.4%</td> </tr> <tr> <td>配線器具</td> <td>1,290</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>ストーブ</td> <td>1,088</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>放火</td> <td>1,012</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>電灯電話等の配線</td> <td>983</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>放火の疑い</td> <td>553</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>たき火</td> <td>410</td> <td>2.0%</td> </tr> <tr> <td>電気装置</td> <td>445</td> <td>2.2%</td> </tr> </table> <p>※放火防止は、地域全体で環境を整えることが重要である。 消防庁「消防白書」令和5年版より</p>	原因	件数	割合	建物火災	20,167	100%	その他	8,330	41.4%	こんろ	2,713	13.5%	たばこ	1,844	9.1%	電気機器	1,499	7.4%	配線器具	1,290	6.4%	ストーブ	1,088	5.4%	放火	1,012	5.0%	電灯電話等の配線	983	4.9%	放火の疑い	553	2.7%	たき火	410	2.0%	電気装置	445	2.2%
原因	件数	割合																																																																															
建物火災	19,549	100%																																																																															
その他	8,115	41.5%																																																																															
こんろ	2,617	13.4%																																																																															
たばこ	1,721	8.8%																																																																															
電気機器	1,413	7.2%																																																																															
配線器具	1,187	6.1%																																																																															
放火	1,072	5.5%																																																																															
ストーブ	1,057	5.4%																																																																															
電灯電話等の配線	985	5.0%																																																																															
放火の疑い	571	2.9%																																																																															
灯火	410	2.1%																																																																															
電気装置	401	2.1%																																																																															
原因	件数	割合																																																																															
建物火災	20,167	100%																																																																															
その他	8,330	41.4%																																																																															
こんろ	2,713	13.5%																																																																															
たばこ	1,844	9.1%																																																																															
電気機器	1,499	7.4%																																																																															
配線器具	1,290	6.4%																																																																															
ストーブ	1,088	5.4%																																																																															
放火	1,012	5.0%																																																																															
電灯電話等の配線	983	4.9%																																																																															
放火の疑い	553	2.7%																																																																															
たき火	410	2.0%																																																																															
電気装置	445	2.2%																																																																															

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																				
ページ	行																																						
153	資料5	<p>資料5 侵入窃盗の発生場所は？</p> <p>(令和4年)</p> <table border="1"> <caption>令和4年 侵入窃盗の発生場所</caption> <thead> <tr> <th>発生場所</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅</td> <td>45.1%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>一般事務所</td> <td>11.1%</td> </tr> <tr> <td>生活環境営業*</td> <td>8.1%</td> </tr> <tr> <td>商店</td> <td>6.5%</td> </tr> <tr> <td>金融機関等</td> <td>0.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>*生活環境営業とは、ホテル・旅館、ぱちんこ屋、深夜飲食店など。</p> <p>🔍 警察庁ホームページ「住まいる防犯110番」より</p>	発生場所	割合	住宅	45.1%	その他	28.8%	一般事務所	11.1%	生活環境営業*	8.1%	商店	6.5%	金融機関等	0.3%	<p>資料5 侵入窃盗の発生場所は？</p> <p>(令和5年)</p> <table border="1"> <caption>令和5年 侵入窃盗の発生場所</caption> <thead> <tr> <th>発生場所</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅</td> <td>41.6%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>33.8%</td> </tr> <tr> <td>一般事務所</td> <td>9.7%</td> </tr> <tr> <td>生活環境営業*</td> <td>8.1%</td> </tr> <tr> <td>商店</td> <td>6.3%</td> </tr> <tr> <td>金融機関等</td> <td>0.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>*生活環境営業とは、ホテル・旅館、ぱちんこ屋、深夜飲食店など。</p> <p>🔍 警察庁ホームページ「住まいる防犯110番」より</p>	発生場所	割合	住宅	41.6%	その他	33.8%	一般事務所	9.7%	生活環境営業*	8.1%	商店	6.3%	金融機関等	0.5%								
発生場所	割合																																						
住宅	45.1%																																						
その他	28.8%																																						
一般事務所	11.1%																																						
生活環境営業*	8.1%																																						
商店	6.5%																																						
金融機関等	0.3%																																						
発生場所	割合																																						
住宅	41.6%																																						
その他	33.8%																																						
一般事務所	9.7%																																						
生活環境営業*	8.1%																																						
商店	6.3%																																						
金融機関等	0.5%																																						
162	資料1	<p>資料1 一人あたりの床面積</p> <p>(㎡)</p> <table border="1"> <caption>一人あたりの床面積 (㎡)</caption> <thead> <tr> <th>国</th> <th>年</th> <th>床面積 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本</td> <td>'18</td> <td>40.2</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>'19</td> <td>61.1</td> </tr> <tr> <td>イギリス</td> <td>'20</td> <td>44.0</td> </tr> <tr> <td>ドイツ</td> <td>'21</td> <td>50.8</td> </tr> <tr> <td>フランス</td> <td>'13</td> <td>44.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>🔍 国土交通省「住宅経済関連データ」令和4年度より</p>	国	年	床面積 (㎡)	日本	'18	40.2	アメリカ	'19	61.1	イギリス	'20	44.0	ドイツ	'21	50.8	フランス	'13	44.3	<p>資料1 一人あたりの床面積</p> <p>(㎡)</p> <table border="1"> <caption>一人あたりの床面積 (㎡)</caption> <thead> <tr> <th>国</th> <th>年</th> <th>床面積 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本</td> <td>'18</td> <td>40.2</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>'21</td> <td>61.1</td> </tr> <tr> <td>イギリス</td> <td>'21</td> <td>43.0</td> </tr> <tr> <td>ドイツ</td> <td>'21</td> <td>50.5</td> </tr> <tr> <td>フランス</td> <td>'20</td> <td>56.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>🔍 国土交通省「住宅経済関連データ」令和5年度より</p>	国	年	床面積 (㎡)	日本	'18	40.2	アメリカ	'21	61.1	イギリス	'21	43.0	ドイツ	'21	50.5	フランス	'20	56.3
国	年	床面積 (㎡)																																					
日本	'18	40.2																																					
アメリカ	'19	61.1																																					
イギリス	'20	44.0																																					
ドイツ	'21	50.8																																					
フランス	'13	44.3																																					
国	年	床面積 (㎡)																																					
日本	'18	40.2																																					
アメリカ	'21	61.1																																					
イギリス	'21	43.0																																					
ドイツ	'21	50.5																																					
フランス	'20	56.3																																					

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																
ページ	行																																																		
162	解説1	<p>解説1 2018年の空き家の数は全国で848万9000戸で、空き家率は13.6%に上る(総務省「住宅・土地統計調査」)。</p>	<p>解説1 2023年の空き家の数は全国で900万戸で、空き家率は13.8%に上る(総務省「住宅・土地統計調査」)。</p>																																																
166	虫の目 2-4	<p>日本で次々と新築が建てられている一方で、空き家の増加が問題になっている。2018年の時点で空き家の数は849万戸、これは住宅全体の13.6%に</p>	<p>日本で次々と新築が建てられている一方で、空き家の増加が問題になっている。2023年の時点で空き家の数は900万戸、これは住宅全体の13.8%に</p>																																																
166	虫の目 グラフ	<p>(万戸) (年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>空き家数 (万戸)</th> <th>空き家率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1963</td><td>52</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>1973</td><td>172</td><td>5.5</td></tr> <tr><td>1983</td><td>330</td><td>8.6</td></tr> <tr><td>1993</td><td>448</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>2003</td><td>659</td><td>12.2</td></tr> <tr><td>2013</td><td>820</td><td>13.5</td></tr> <tr><td>2018</td><td>849</td><td>13.6</td></tr> </tbody> </table> <p>総務省統計局「住宅・土地統計調査」より</p>	年	空き家数 (万戸)	空き家率 (%)	1963	52	2.5	1973	172	5.5	1983	330	8.6	1993	448	9.8	2003	659	12.2	2013	820	13.5	2018	849	13.6	<p>(万戸) (年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>空き家数 (万戸)</th> <th>空き家率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1963</td><td>52</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>1973</td><td>172</td><td>5.5</td></tr> <tr><td>1983</td><td>330</td><td>8.6</td></tr> <tr><td>1993</td><td>448</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>2003</td><td>659</td><td>12.2</td></tr> <tr><td>2013</td><td>820</td><td>13.5</td></tr> <tr><td>2023</td><td>900</td><td>13.8</td></tr> </tbody> </table> <p>総務省統計局「住宅・土地統計調査」より</p>	年	空き家数 (万戸)	空き家率 (%)	1963	52	2.5	1973	172	5.5	1983	330	8.6	1993	448	9.8	2003	659	12.2	2013	820	13.5	2023	900	13.8
年	空き家数 (万戸)	空き家率 (%)																																																	
1963	52	2.5																																																	
1973	172	5.5																																																	
1983	330	8.6																																																	
1993	448	9.8																																																	
2003	659	12.2																																																	
2013	820	13.5																																																	
2018	849	13.6																																																	
年	空き家数 (万戸)	空き家率 (%)																																																	
1963	52	2.5																																																	
1973	172	5.5																																																	
1983	330	8.6																																																	
1993	448	9.8																																																	
2003	659	12.2																																																	
2013	820	13.5																																																	
2023	900	13.8																																																	

訂正箇所		令和6年度教科書（旧）	令和7年度教科書（新）																																
ページ	行																																		
168	食 グラフ	<p>2021年 種別・品目別</p> <table border="1"> <tr> <th>品目</th> <th>値</th> </tr> <tr> <td>米</td> <td>87.1</td> </tr> <tr> <td>野菜</td> <td>131.3</td> </tr> <tr> <td>くだもの</td> <td>54.6</td> </tr> <tr> <td>肉類</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>牛乳および乳製品</td> <td>65.3</td> </tr> <tr> <td>魚介類</td> <td>65.5</td> </tr> <tr> <td>油脂類</td> <td>14.7</td> </tr> </table>	品目	値	米	87.1	野菜	131.3	くだもの	54.6	肉類	31.3	牛乳および乳製品	65.3	魚介類	65.5	油脂類	14.7	<p>2022年 種別・品目別</p> <table border="1"> <tr> <th>品目</th> <th>値</th> </tr> <tr> <td>米</td> <td>87.1</td> </tr> <tr> <td>野菜</td> <td>131.3</td> </tr> <tr> <td>くだもの</td> <td>54.6</td> </tr> <tr> <td>肉類</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>牛乳および乳製品</td> <td>65.3</td> </tr> <tr> <td>魚介類</td> <td>65.5</td> </tr> <tr> <td>油脂類</td> <td>14.7</td> </tr> </table>	品目	値	米	87.1	野菜	131.3	くだもの	54.6	肉類	31.3	牛乳および乳製品	65.3	魚介類	65.5	油脂類	14.7
品目	値																																		
米	87.1																																		
野菜	131.3																																		
くだもの	54.6																																		
肉類	31.3																																		
牛乳および乳製品	65.3																																		
魚介類	65.5																																		
油脂類	14.7																																		
品目	値																																		
米	87.1																																		
野菜	131.3																																		
くだもの	54.6																																		
肉類	31.3																																		
牛乳および乳製品	65.3																																		
魚介類	65.5																																		
油脂類	14.7																																		

訂正箇所		令和6年度教科書（旧）	令和7年度教科書（新）
ページ	行		
168	住 グラフ	 <p>総住宅数 <u>62,407,000</u> 戸</p> <p>一世帯あたり <u>1.16</u> 戸</p> <p>2018年</p>	 <p>総住宅数 <u>65,020,700</u> 戸</p> <p>一世帯あたり <u>1.08</u> 戸</p> <p>2023年</p>

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)																																																												
ページ	行																																																														
172	資料2	<div data-bbox="353 252 1668 842"> <p>勤労者世帯平均 世帯人員 2.50人 有業人員 1.53人 世帯主の平均年齢 48.0歳</p> <p>収入 世帯主収入 416,583円 世帯主の配偶者の収入 65,034円 ほかの世帯員の収入 10,502円 その他 43,058円 勤め先収入 492,119円</p> <p>支出 非消費支出 100,176円 消費支出 273,417円 黒字*2 161,584円</p> <p>実収入 535,177円 可処分所得 435,001円 実支出 373,592円</p> <p>消費支出の内訳</p> <table border="1"> <tr><td>食料*1</td><td>67,166円</td><td>24.6%</td></tr> <tr><td>住居</td><td>24,148円</td><td>8.8%</td></tr> <tr><td>光熱・水道</td><td>20,019円</td><td>7.3%</td></tr> <tr><td>家具・家事用品</td><td>10,435円</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>被服及び履き物</td><td>9,776円</td><td>3.6%</td></tr> <tr><td>保健医療</td><td>11,424円</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>交通・通信</td><td>41,438円</td><td>15.2%</td></tr> <tr><td>教育</td><td>12,100円</td><td>4.4%</td></tr> <tr><td>教養娯楽</td><td>26,855円</td><td>9.8%</td></tr> <tr><td>その他の消費支出</td><td>50,056円</td><td>18.3%</td></tr> </table> <p>*1 消費支出における食料費の割合のことを、エンゲル係数という。 *2 黒字は、預貯金や保険掛金、住宅ローン返済、有価証券購入などに使われる。 ※四捨五入の関係で合計が合わない場合あり。</p> <p>総務省統計局「家計調査年報」令和4年より</p> </div>	食料*1	67,166円	24.6%	住居	24,148円	8.8%	光熱・水道	20,019円	7.3%	家具・家事用品	10,435円	3.8%	被服及び履き物	9,776円	3.6%	保健医療	11,424円	4.2%	交通・通信	41,438円	15.2%	教育	12,100円	4.4%	教養娯楽	26,855円	9.8%	その他の消費支出	50,056円	18.3%	<div data-bbox="667 882 1973 1481"> <p>勤労者世帯平均 世帯人員 2.47人 有業人員 1.52人 世帯主の平均年齢 48.0歳</p> <p>収入 世帯主収入 404,175円 世帯主の配偶者の収入 64,249円 ほかの世帯員の収入 10,054円 その他 43,855円 勤め先収入 478,479円</p> <p>支出 非消費支出 96,367円 消費支出 272,285円 黒字*2 153,682円</p> <p>実収入 522,334円 可処分所得 425,967円 実支出 368,652円</p> <p>消費支出の内訳</p> <table border="1"> <tr><td>食料*1</td><td>70,609円</td><td>25.9%</td></tr> <tr><td>住居</td><td>23,187円</td><td>8.5%</td></tr> <tr><td>光熱・水道</td><td>19,501円</td><td>7.2%</td></tr> <tr><td>家具・家事用品</td><td>10,230円</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>被服及び履き物</td><td>9,237円</td><td>3.4%</td></tr> <tr><td>保健医療</td><td>11,159円</td><td>4.1%</td></tr> <tr><td>交通・通信</td><td>42,769円</td><td>15.7%</td></tr> <tr><td>教育</td><td>11,115円</td><td>4.1%</td></tr> <tr><td>教養娯楽</td><td>27,823円</td><td>10.2%</td></tr> <tr><td>その他の消費支出</td><td>46,654円</td><td>17.1%</td></tr> </table> <p>*1 消費支出における食料費の割合のことを、エンゲル係数という。 *2 黒字は、預貯金や保険掛金、住宅ローン返済、有価証券購入などに使われる。 ※四捨五入の関係で合計が合わない場合あり。</p> <p>総務省統計局「家計調査年報」令和5年より</p> </div>	食料*1	70,609円	25.9%	住居	23,187円	8.5%	光熱・水道	19,501円	7.2%	家具・家事用品	10,230円	3.8%	被服及び履き物	9,237円	3.4%	保健医療	11,159円	4.1%	交通・通信	42,769円	15.7%	教育	11,115円	4.1%	教養娯楽	27,823円	10.2%	その他の消費支出	46,654円	17.1%
食料*1	67,166円	24.6%																																																													
住居	24,148円	8.8%																																																													
光熱・水道	20,019円	7.3%																																																													
家具・家事用品	10,435円	3.8%																																																													
被服及び履き物	9,776円	3.6%																																																													
保健医療	11,424円	4.2%																																																													
交通・通信	41,438円	15.2%																																																													
教育	12,100円	4.4%																																																													
教養娯楽	26,855円	9.8%																																																													
その他の消費支出	50,056円	18.3%																																																													
食料*1	70,609円	25.9%																																																													
住居	23,187円	8.5%																																																													
光熱・水道	19,501円	7.2%																																																													
家具・家事用品	10,230円	3.8%																																																													
被服及び履き物	9,237円	3.4%																																																													
保健医療	11,159円	4.1%																																																													
交通・通信	42,769円	15.7%																																																													
教育	11,115円	4.1%																																																													
教養娯楽	27,823円	10.2%																																																													
その他の消費支出	46,654円	17.1%																																																													

訂正箇所		令和6年度教科書（旧）	令和7年度教科書（新）
ページ	行		
176	初任給	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">初任給の額</p> <p>★高校卒 約 <u>18</u>万円</p> <p>★高専・短大卒 約 <u>20</u>万円</p> <p>★大学卒 約 <u>23</u>万円</p> <p>★大学院卒 約 <u>27</u>万円</p> </div> <p>初任給：新規学卒者の所定内給与額（厚生労働省「賃金構造基本統計調査」令和4年）。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">初任給の額</p> <p>★高校卒 約 <u>19</u>万円</p> <p>★高専・短大卒 約 <u>21</u>万円</p> <p>★大学卒 約 <u>24</u>万円</p> <p>★大学院卒 約 <u>28</u>万円</p> </div> <p>初任給：新規学卒者の所定内給与額（厚生労働省「賃金構造基本統計調査」令和5年）。</p>
176	結婚費用	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">結婚にかかる費用</p> <p>★婚約（結納金・婚約指輪）にかかる費用 約 <u>135</u>万円</p> <p>★挙式・披露宴・披露パーティーにかかる費用 約 <u>304</u>万円</p> <p>★新婚旅行費用 約 <u>30</u>万円</p> </div> <p>結婚にかかる費用：全国推計値（ゼクシィ「結婚トレンド調査2022」）。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">結婚にかかる費用</p> <p>★婚約（結納金・婚約指輪）にかかる費用 約 <u>136</u>万円</p> <p>★挙式・披露宴・披露パーティーにかかる費用 約 <u>327</u>万円</p> <p>★新婚旅行費用 約 <u>43</u>万円</p> </div> <p>結婚にかかる費用：全国推計値（ゼクシィ「結婚トレンド調査2023」）。</p>

訂正箇所		令和6年度教科書（旧）	令和7年度教科書（新）
ページ	行		
176 177	住宅 資金	<p>p.177</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">住宅資金</p> <p>★土地付注文住宅の購入費 約 4,694万円</p> <p>★マンション購入費 約 4,848万円</p> </div> <p>p.176</p> <p style="font-size: small;">別学習費総額の年数分（文部科学省「子供の学習費調査」令和3年度）。住宅資金：全国の平均。対象はフラット35（住宅金融支援機構と民間金融機関による長期固定金利ローン）の利用者（住宅金融支援機構「フラット35利用者調査」<u>2022年度</u>）。老後の生活費：老後の最低日常生活費 夫婦2人の場合（生命保険文化センター「生</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">住宅資金</p> <p>★土地付注文住宅の購入費 約 4,903万円</p> <p>★マンション購入費 約 5,245万円</p> </div> <p style="font-size: small;">別学習費総額の年数分（文部科学省「子供の学習費調査」令和3年度）。住宅資金：全国の平均。対象はフラット35（住宅金融支援機構と民間金融機関による長期固定金利ローン）の利用者（住宅金融支援機構「フラット35利用者調査」<u>2023年度</u>）。老後の生活費：老後の最低日常生活費 夫婦2人の場合（生命保険文化センター「生</p>

訂正箇所		令和6年度教科書(旧)	令和7年度教科書(新)
ページ	行		
178	鳥の目 グラフ	<p>●家計の金融資産構成</p> <p>日本 現金・預金 54.3, 債務証券 1.3, 投資信託 4.5, 株式等 10.2, 保険・年金・定型保証 26.9, その他計 2.8</p> <p>米国 現金・預金 13.7, 債務証券 2.6, 投資信託 12.6, 株式等 39.8, 保険・年金・定型保証 28.6, その他計 2.8</p> <p>ユーロエリア 現金・預金 34.5, 債務証券 1.6, 投資信託 10.4, 株式等 19.5, 保険・年金・定型保証 31.9, その他計 2.1</p> <p>金融資産合計に占める割合 (%)</p> <p>日本銀行調査統計局「資金循環の日米欧比較」2022年より</p>	<p>●家計の金融資産構成</p> <p>日本 現金・預金 54.2, 債務証券 1.3, 投資信託 4.4, 株式等 11.0, 保険・年金・定型保証 26.2, その他計 2.9</p> <p>米国 現金・預金 12.6, 債務証券 4.9, 投資信託 11.9, 株式等 39.4, 保険・年金・定型保証 28.6, その他計 2.7</p> <p>ユーロエリア 現金・預金 35.5, 債務証券 2.2, 投資信託 10.1, 株式等 21.0, 保険・年金・定型保証 29.1, その他計 2.1</p> <p>金融資産合計に占める割合 (%)</p> <p>日本銀行調査統計局「資金循環の日米欧比較」2023年より</p>
178	鳥の目 2-4	<p>家計の金融資産は、日本では現金・預金が54.3%を占め、現金・預金の割合が高いが、アメリカでは株式・投資信託が52.4%と圧倒的に多い。ア</p>	<p>家計の金融資産は、日本では現金・預金が54.2%を占め、現金・預金の割合が高いが、アメリカでは株式・投資信託が51.3%と圧倒的に多い。ア</p>
197	資料2	<p>資料2 ごみ排出量の変化</p> <p>ごみ総排出量 (万トン/年)</p> <p>1990 5,026 1995 5,222 2000 5,483 2005 5,272 2010 4,536 2015 4,398 2020 4,167 2021 4,095</p> <p>環境省「環境・循環型社会・生物多様性白書」令和5年版より作成</p>	<p>資料2 ごみ排出量の変化</p> <p>ごみ総排出量 (万トン/年)</p> <p>1990 5,026 1995 5,222 2000 5,483 2005 5,272 2010 4,536 2015 4,398 2020 4,167 2022 4,034</p> <p>環境省「環境・循環型社会・生物多様性白書」令和6年版より作成</p>